

フィリピン共和国
職業訓練向上計画プロジェクト
巡回指導調査団報告書

平成9年2月

国際協力事業団
社会開発協力部

序 文

フィリピン共和国政府は経済低迷からの脱出をめざす国家重点目標の1つとして雇用機会の創出を掲げており、そのためには職業訓練に従事する人材開発が重要であるとして、職業訓練実施体制の整備・改善を目的とする技術協力を、我が国に要請してきた。

これを受けて国際協力事業団は「職業訓練向上計画プロジェクト」の技術協力を、1994年4月から5年間にわたって実施している。

今般、プロジェクト開始から2年9か月を経て、技術協力の中間点にきたことから、プロジェクトの進捗状況を確認するとともに今後の協力計画等を協議するため、1997年（平成9年）1月14日から同23日まで、労働省職業能力開発局海外協力課課長補佐 田中正晴氏を団長とする巡回指導調査団を現地に派遣した。

本報告書は、同調査団の調査・協議結果を取りまとめたもので、今後のプロジェクト活動展開に広く活用されることを望むものである。

ここに、調査団の各位をはじめ、ご協力頂いた外務省、労働省、雇用促進事業団、在フィリピン日本大使館など、内外関係各機関の方々に深く謝意を表するとともに、引き続き一層のご支援をお願いする次第である。

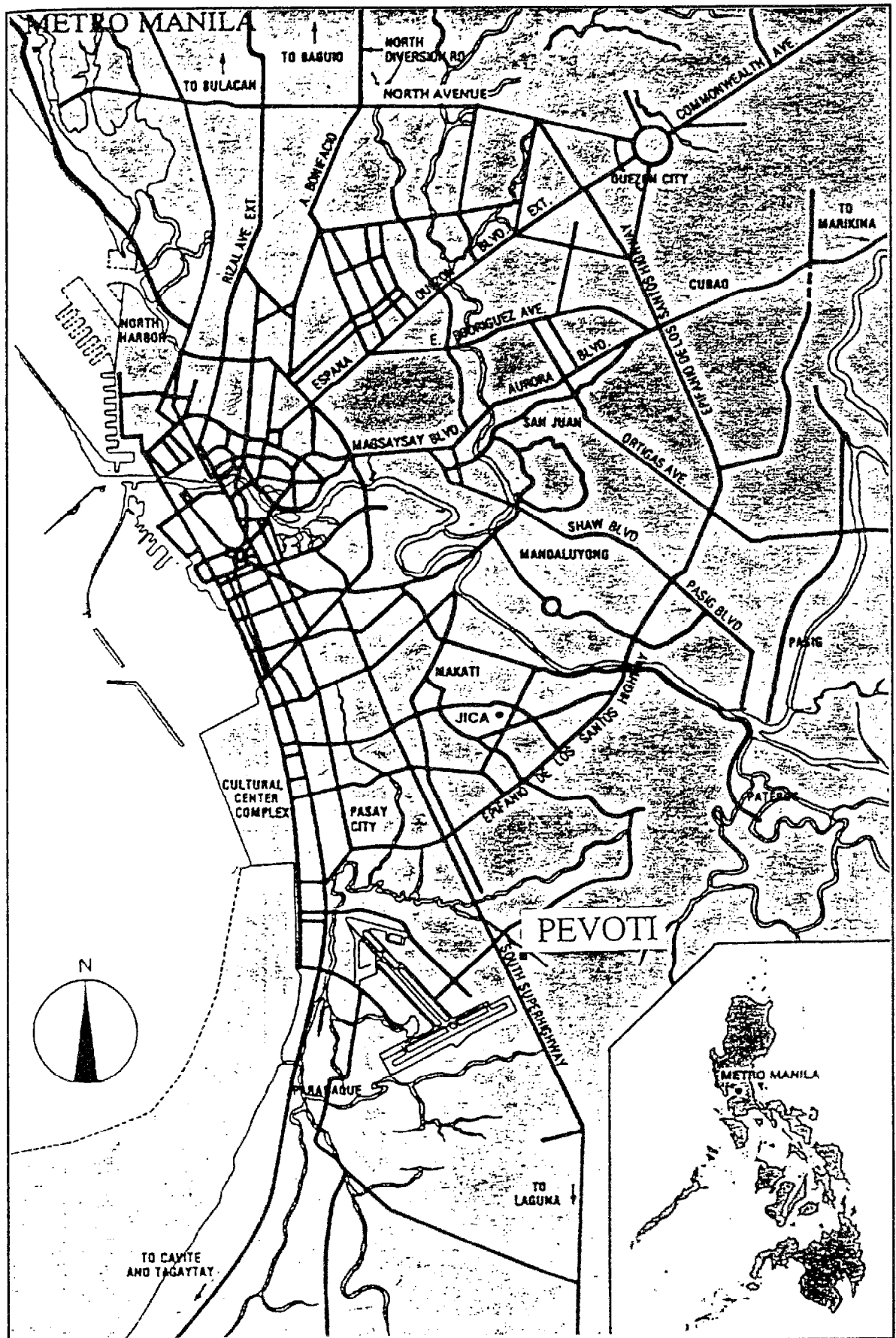
平成9年2月

国際協力事業団

社会開発協力部

部長 神田 道男

プロジェクト・サイト位置図



略 語 集

- CTC (Complete Task Cube) : コンプリートタスクキューブ (訓練教材開発手法)
- CTM (Curriculum and Teaching Materials) : カリキュラム教材
- CTMD (Curriculum and Training Materials Development) : カリキュラム教材開発
- DECS (The Department of Education, Culture and Sports) : 教育文化スポーツ省
- DOLE (The Department of Labor and Employment) : 労働雇用省
- FA (Factory Automation) : 工場自動化
- IVTD (Institute of Vocational Training and Development) : 職業訓練研究部
- IVTD-NMYC : 立ち上げ時のプロジェクト実施機関
- MP (Metal Processing) : 金属加工
- NCEE : 大学入学国家試験
- NEDA (National Economic and Development Authority) : 国家経済開発庁
- NITVET (National Institute for Technical Vocational Education and Training)
: 技術職業教育訓練センター
- NITVET-TESDA : 現行プロジェクト実施機関 (プロジェクト名はPEVOTI)
- NMYC (National Manpower and Youth Council) : 国家人材青年協議会
- OMPC (Office of Manpower Planning & Coordination) : マンパワープランニング調整部
- OMSD (Office of Manpower Skills Development) : マンパワー技能開発部
- PCM (Project Cycle Management) : プロジェクト・サイクル・マネジメント (PCM手法)
- PDM (Project Design Matrix) : プロジェクト・デザイン・マトリックス
- PEVOTI (Project for Enhancing Vocational Training of the Institute)
: 職業訓練向上計画プロジェクト
- PMTC (Provincial Manpower Training Center) : 県マンパワー訓練センター
- R/D (Record of Discussions) : 討議議事録
- RMTC (Regional Manpower Training Center) : 地域マンパワー訓練センター
- TESDA (The Technical Education and Skills Development Authority)
: 技術教育技能開発庁 (技術教育事業団) = 1994年に設立
- TM (Trainning Management) : 訓練管理
- TMC (Training Management Cycle) : 訓練管理サイクル
- TMU (TMC Managing Unit) : TMCマネージングユニット
- TSC (TMC Steering Committee) : TMC運営委員会
- VTRI (The Vocational Training and Research Institut) : 職業訓練研究所

目 次

序 文

地 図

略 語 集

1 . 巡回指導調査団の派遣 -----	1
1 - 1 調査団派遣の経緯と目的 -----	1
1 - 2 調査団の構成 -----	1
1 - 3 調査日程 -----	2
1 - 4 主要面談者 -----	3
2 . 要約 -----	4
3 . プロジェクトの進捗状況 -----	6
3 - 1 訓練管理サイクル・マネージングユニット (TMU) の管理運営システム ----	6
3 - 2 訓練管理分野 -----	8
3 - 3 カリキュラム及び教材開発分野 -----	8
3 - 4 機械・金属加工・制御等各分野の指導員訓練 -----	9
4 . 投入 -----	12
4 - 1 フィリピン側投入 -----	12
4 - 2 日本側投入 -----	12
5 . 今後の実施計画 -----	13
6 . 団長所感 -----	14
付属資料	
1 . ミニッツ -----	19
2 . 訓練管理分野の活動実績と今後の計画 -----	55
3 . カリキュラム及び教材開発分野の活動実績と今後の計画 -----	59
4 . 機械分野の指導員訓練活動実績と今後の計画 -----	68

5 . 金属加工分野の指導員訓練活動実績と今後の計画 -----	73
6 . 制御分野の指導員訓練活動実績と今後の計画 -----	83
7 . 投入実績及び活動実績 -----	91
8 . 平成 9 年度活動計画 -----	104

1 . 巡回指導調査団の派遣

1 - 1 調査団派遣の経緯と目的

フィリピン共和国では、貧困の解消、都市・農村の格差解消、生産雇用機会の創出という国家開発重点目標を達成するため、人材開発が重要であるとされているが、近年の経済低迷から脱出するには当面、雇用機会の拡大が重要課題になってきた。こうした状況からフィリピン政府は、まず職業訓練に従事する人材の開発が重要であるとして、職業訓練実施体制の整備、確立に係るプロジェクト方式技術協力を、我が国に要請してきた。

これを受けて国際協力事業団は、1992年12月に事前調査、1993年3月と10月に長期調査を重ねたうえ、1994年2月に実施協議調査団を派遣して討議議事録（Record of Discussions: R/D）の署名を取り交わし、1994年4月1日から5年間にわたる「フィリピン職業訓練向上計画プロジェクト」を開始した。本プロジェクトは、フィリピン技術教育技能開発庁（TESDA）が行う職業訓練について、管理運営体制の質的改善を目的とするもので、具体的には訓練管理サイクル（Training Management Cycle: TMC）のコンセプトを活用して、技術移転が進められてきた。TMCとは「訓練ニーズの調査 訓練企画 教材開発 訓練実施 評価」の過程を経て「効果的・効率的な職業訓練実施体制」を組み上げようとするプログラム（ソフトウェア）である。

協力開始後の1995年1月には計画打合せ調査団を派遣して、プロジェクト実施5か年計画を策定している。

今般、プロジェクトの開始から2年9か月を経て、技術協力の中間点にきたことを受け、これまでのプロジェクト活動の進捗状況を確認・評価するとともに、残された協力期間内にプロジェクト目標を達成するための協力計画を策定することを目的として、本巡回指導調査団を派遣した。

なお、同調査団はこれら調査・協議結果をミニッツに取りまとめ、フィリピン側と署名を取り交わした。

1 - 2 調査団の構成

- (1) 田中 正晴 労働省職業能力開発局海外協力課課長補佐

(Mr. Masaharu Tanaka, Deputy Director, Overseas Cooperation Division, Human Resources Development Bureau, Ministry of Labour)

- (2) 田村 定 労働省職業能力開発局海外協力課海外訓練協力官

(Mr. Sadamu Tamura, Vocational Training Specialist in Charge of Technical Cooperation, Overseas Cooperation Division, Human Resources Development Bureau, Ministry of Labour)

- (3) 池谷 忠正 雇用促進事業団石川職業能力開発促進センター所長
 (Mr. Tadamasa Ikenoya, Director, Ishikawa Polytechnic Center, Employment Promotion Corporation)
- (4) 掛水 正二 雇用促進事業団職業能力開発指導部国際協力課専門役
 (Mr. Seiji Kakemizu, Senior Advisor, International Cooperation Division, Human Resources Development Guidance Department, Employment Promotion Corporation)
- (5) 吉成 安恵 国際協力事業団社会開発協力部社会開発協力第一課
 (Ms. Yasue Yoshinari, Staff, First Technical Cooperation Division, Social Development Cooperation Department, Japan International Cooperation Agency)

1 - 3 調査日程

期間：1997年（平成9年）1月14日～23日

日順	月日(曜)	移 動 及 び 業 務
1	1 / 14(火)	9:45 成田発 JL741 マニラ着 16:00 JICA フィリピン事務所訪問
2	1 / 15(水)	9:30 日本大使館表敬 14:00 TESDA ラクソン長官表敬 15:00 日本人専門家チームと打合せ
3	1 / 16(木)	9:30 日本人専門家チームと打合せ 14:00 プロジェクト全体会議 (TSC/TMU メンバー)
4	1 / 17(金)	9:30 活動状況調査・活動計画調査
5	1 / 18(土)	団内打合せ
6	1 / 19(日)	資料整理
7	1 / 20(月)	9:30 活動計画調査・ミニッツ案検討 14:00 同上 プロジェクト全体会議
8	1 / 21(火)	9:30 ミニッツ案完成 11:00 ミニッツ署名・交換 14:00 国家経済開発庁 (NEDA) 報告
9	1 / 22(水)	9:30 日本大使館報告 14:00 JICA フィリピン事務所報告
10	1 / 23(木)	14:45 マニラ発 JL742 19:40 成田着

1 - 4 主要面談者

(1) Technical Education and Skills Development Authority (TESDA)

Mr. Jose D. Lacson	Director General, Technical Educational and Skills Development Authority, Department of Labour and Employment
Mr. Jose D. Escartin	Deputy Director General
Mr. Alfredo A. Regondola	Director, NITVET
Ms. Felicidad Zurbano	Managing Coordinator, PEVOTI

(2) 日本人専門家

谷口 勝義	チーフアドバイザー
木村 伸一	業務調整
西川 義雄	訓練管理
久米 篤憲	機械
小渡 邦昭	金属
立壁 保郎	制御

(3) 在フィリピン日本大使館

水野順一郎	二等書記官
-------	-------

(4) JICAフィリピン事務所

力石 寿郎	次長
宿野部雅美	所員

2 . 要約

本巡回指導調査団は1997年1月14日から同23日までの日程でフィリピン共和国を訪問し、「フィリピン職業訓練向上計画プロジェクト」の進捗状況を調査するとともに、今後の活動計画についてフィリピン側関係各機関と協議した。その結果、合意事項をミニッツ（付属資料1.）に取りまとめて、署名を取り交わした。

本プロジェクトの実施機関であった国家人材青年協議会（NMYC）は、1994年の大統領令（Republic Act No. 7796）により、技術教育技能開発庁（TESDA）に統合された。調査団はこれについてフィリピン側の説明を聞き、この統合はプロジェクト実施機関としての機能・実施体制に何らマイナスの影響を及ぼすものではなく、名称変更のみであることを確認した。

本巡回指導調査団の調査・協議結果は、要旨以下のとおりである。

(1) プロジェクトの進捗状況

プロジェクト活動は計画打合せ調査団（1995年1月）が策定した5か年計画に沿って、おおむね順調に進捗していると判断された。各活動の達成状況は次のとおりである。

1) 訓練管理サイクル（TMC）運営管理システム

TMCのマネージングユニット（TMU）と運営委員会（TSC）がプロジェクト開始当初から設置され、ほぼ順調に開催されている。

2) 訓練管理

訓練管理に関する基礎的知識及び技術のカウンターパート（C/P）への移転は、ほぼ完了している。今後は、その知識を基に、カウンターパートが独自にセミナー開催等を実践していく段階にきている。

3) カリキュラム及び教材開発

当該ワークショップで、カリキュラム及び教材開発に係るプロセスを開発し、コースに適用した。また機械分野の訓練教材開発手法（CTC）の成果及び「自動車整備保守」「旋盤操作」に関する教材を通し、その有効性を示すことができた。

4) 指導員訓練（機械、金属加工、制御）

一部施設、機材整備の遅れによる活動計画の変更があったが、各分野の訓練開始活動は、おおむね順調に進んでいる。

(2) 今後の活動計画

プロジェクトの計画達成状況と後半の詳細活動計画を、プロジェクト活動進捗表（ミニッツ Appendix I）に取りまとめた。

(3) 調査団の提言

調査団はフィリピン側との協議を通じ、TESDAが本プロジェクトの基本コンセプトであるTMCを、技術訓練・技術教育の促進と活性化に組織的に活用していく意向である旨確認した。そのうえで、プロジェクト目標をより成功裏に達成するため、プロジェクト及びフィリピン側関係者に以下について提言した。

1) TMC運営管理システムの持続について

TMC概念を高めるためにプロジェクトと、その実施機関であるTESDAの技術職業教育訓練センター（NITVET）各部門が円滑な連携をとること。また、NITVETの組織自体がTMC概念を普及し、プロジェクトの成果を維持する新システム（TSCのような）の開発に寄与すること。

2) プロジェクト活動経過の記録

TMCに沿った各活動を明確に記録し、その記録の実質的改善を進めること。

3) 訓練管理

TMCを効果的に経験、実施するため、訓練管理分野のカウンターパートが、NITVETの各関係組織の機能に適応する活動を行うこと。訓練管理分野、カリキュラム及び教材開発分野、ワークショップ間の機能的連携が有効活用され、その結果が組織的に蓄積されること。同時に、訓練管理の一般的な実施におけるカウンターパートの知識も改善されること。

4) カリキュラム及び教材開発

1997年は、当該ワークショップで旋盤の訓練教材開発手法（CTC）を完了させ、カリキュラム及び教材開発分野のカリキュラム及び教材開発プロセスを、少なくとも協力当該分野のワークショップの1つにおいて実践すること。

5) カウンターパートの配置

機械分野のカウンターパートが1名空席であるため、その配置に最大限努力すること。

(4) フィリピン側の意見

1) TMCが本プロジェクトの主要ポイントではあるが、プロジェクトでは供与機材の最大限の活用について、さらに検討する必要がある。

2) 各ワークショップ間の調整機能について改善が必要である。

3) 日本側においては、病气帰国中の「カリキュラム及び教材開発」の専門家に代わる専門家の派遣を願いたい。

4) 現在、TESDAはNITVETの組織整備（再編）に係る調査・検討を行っている。フィリピン側としては、NITVETの組織は、プロジェクトが要求する機能に適合するものであると考えている。

3 . プロジェクトの進捗状況

3 - 1 訓練管理サイクル・マネージングユニット (TMU) の管理運営システム

TMUのメンバーはマネージングコーディネータ1名、各分野のカウンターパート14名、日本人専門家チーム7名の、計22名である。

TMUは訓練管理サイクル (TMC) の実施、定着を図る上での中核をなす機関であり、その機能は主に以下の7つである。

- (1) フィリピンにおける訓練の現状把握と分析
- (2) TMUに基づく年間計画の策定及び訓練計画の大綱策定
- (3) TMC運営委員会 (TSC) のための討議議題及び資料策定
- (4) TMCにかかわる各種調査、モニタリング
- (5) 各課、各ワークショップとの共同作業
- (6) 技術・技能、理論、概念のスムーズな移転のサポート
- (7) 訓練及び訓練プログラムの評価

実施頻度は当初週1回であったが、現在は2週間に1回開かれている。(表-1参照)

TMUの問題点は、参加者が22名と多く、意思決定に時間がかかることであり、一部ではカウンターの参加を各ワークショップのチーフ5名に限定すべきであるという意見もあった。しかし、TMUでの議論、意見調整そのものが技術移転に他ならないことを考えると、カウンターパート全員を参加させる現在の方式が望ましいと思われる。

一方TSC (TMC運営委員会) は、議長である技術教育技能開発庁 (TESDA) 副長官、共同議長である技術職業教育訓練センター (NITVET) 所長と、NITVET各課長 (5名)、マネージングコーディネーター (1名)、カウンターパート (チーフのみ5名)、日本人専門家チーム (7名) の計20名で構成され、そこではTMUから提出された活動計画の検討及び承認、活動計画に基づいた適切な部門及びワークショップの役割決定、活動計画実施状況の確認、NITVET職業訓練の改善点及び重要事項に係る検討などを行っている。実施頻度は月1回で、調査時点まで21回開催されていた。(表-1参照)

TSCの問題点としては、関係者の日程調整に手間取り、計画的な実施が難しいことがあるが、この問題についてはTSCの中で検討されるべきである。

表 - 1 TMUとTSCの開催状況

	TMU	TSC		TMU	TSC		TMU	TSC
1994			1995			1996		
June	13	14	May	4	9	September	16	
	24	15		11				
		28		18				
				25		October	4	29
July	5						17	
	13		June	1	7		31	
	20			8				
	22			15		November	14	
	27			29			28	
	28							
	29		July	6		December	12	2
				13				
August	3	31		20		1997		
	5			27		January	9	
	19						23	
	31		August	3	8			
				10				
September	7			17				
	9			24				
	14			31				
	16							
	20		September	7	20			
	23			14				
	28			21				
	30			28				
October	5		October	5				
				19				
November	10							
	17		November	2				
December	1		December	7				
	15							
	22							
			1996					
			January	4				
1995				18				
January	4	5	February	1	27			
	24	15		15				
	26			29				
	27							
February	2	23	March	19				
	6				26			
	9				28			
	13		April	11				
	16			25				
	23							
			May	9				
March	2	15		23	2			
	9							
	10		Jane	7				
	16			20	4			
	23							
	30		July	5				
					10			
April	6	17	August	29				
	25							

3 - 2 訓練管理分野

本分野については、訓練施設及び企業のニーズ調査を行ったのをはじめ、生産管理シミュレーションセミナー、ハイテク時代の技術移転セミナーなどが実施された。

今後の課題は、以下のとおりである。

- (1) 訓練内容や他科との連携方法について、カウンターパートがより具体的に理解できるよう工夫が必要である。
- (2) セミナー受講者数の獲得のみを求めるのではなく、プロジェクトの指標を一層明確化し、それらについても意識する必要がある。
- (3) TMCの技術移転の経緯を明確にするために、プロジェクトの活動経過の記録をより詳細にとる必要がある。
- (4) 調査 - 計画 - 実施 - 評価というサイクルで実施されている各専門家の活動（教材作成、セミナー実施等）が、それぞれ訓練管理といかなる関係にあるのか、明確にする必要がある。
- (5) プロジェクトとNITVETの業務上の協力関係を明確化する必要がある。
- (6) 訓練管理を正確に行うためには、カウンターパートのみならず、管理部門に対する指導も必要である。
- (7) 訓練管理における情報の共有化を促進する必要がある。

活動実績及び今後の活動計画の詳細については、付属資料2.を参照する。

3 - 3 カリキュラム及び教材開発分野

本分野の活動は、以下のとおりである。

(1) カリキュラム及び教材開発の基本方針

- 1) 当該分野のカウンターパートをカリキュラム及び教材開発の専門家・指導員として育成する。
- 2) 指導員が教材を作成するために必要な情報提供システム（教材開発支援システム）を確立し、必要な情報を一元化する。
- 3) フィリピン国における職業訓練教材を収集し、教材情報センターとしての役割を果たす。
- 4) 指導員自らが教材を作成する方法を確立する。

(2) カリキュラム及び教材開発の流れ

1) 開発の方法

職務分析方法によるタスクシート作成技法を確立し、独自にカリキュラムを作成できるよう能力の向上を図る。

訓練ニーズを反映したカリキュラムの作成方法を実践する。

ビデオシステムを用いた作業分析手法による教材作成方法を実践する。

カリキュラム及び教材開発コースを開発し、実践する。

2) カリキュラム、教材開発の実施

教材開発委員会を設置・運営し、教材の教科編成を作成する。

教材開発委員会を開催し、具体的な教材を作成する。

3) 開発教材の評価

開発した教材を活用した訓練を実施し、教材の評価を行う。

開発教材の使用実態調査を実施する。

活動実績及び今後の活動計画の詳細については、付属資料3.を参照する。

3 - 4 機械・金属加工・制御等各分野の指導員訓練

本分野の活動は、以下のとおりである。

(1) 総論

一部機材の配置の遅れにより計画を一時的に変更した分野もあるが、おおむね計画どおりに活動が進捗していることが確認された。

カウンターパートのTMCの移転については、訓練コースの試行を繰り返す中で徐々に進捗しているが、TMCの主要コンポーネントである改善活動や、現地指導員に対するTMCの技術移転を実施できる段階にまでは至っておらず、引き続き専門家による指導が必要である。

一方、各技術分野については、供与機材の基本的な操作方法、及び開発した訓練コースに関連する項目について技術移転が実施されており、今後は主要機材が整備されるのに合わせて、活動の比重が高まることが見込まれる。

(2) 機械分野（活動実績及び今後の活動計画については、付属資料4.を参照）

一部機材の配置が若干遅れたものの、計画を一時的に変更し、2種類の訓練コースを計8回実施している。

今後は、「旋盤」、「CNC旋盤」、「カスタムプログラミング」、「NCワイヤーカッ

ター」の4コースを新規に開発し、また「マシニングセンター」コースについては引き続き改善を行っていく予定である。

(3) 金属加工分野

これまでに3種類の訓練コースを計8回（「BASIC・CAD」：6回、「金型設計（CADを利用）」：1回、「プレス加工」：1回）実施している。このうち「BASIC・CAD」コースについては、2回目まではCADを用いた板金展開図法であったが、企業ニーズを調査した結果、コース内容とコース名の変更を行った経緯がある。これはTMC活動の成果である。

今後は、「プレス加工」、「金型設計」、「金型製作」、「CAE」の4コースを新規に開発し、「CAD」、「プレス加工」、「金型設計」の3コースについては引き続き改善を行っていく予定である。

活動実績及び今後の活動計画の詳細については、付属資料5.を参照のこと。

(4) 制御分野

これまでに3種類の訓練コース計8回（「パソコン制御システム」：3回、「シーケンス制御と空圧制御」：3回、「マイコン制御」：2回）実施している。

今後は、「マイコン制御応用」、「サーボ制御」、「計測制御」、「プロセス制御」、「工業ロボット」、「センサー及びインターフェース」、「ファクトリーオートメーション」の7コースを新規に開発する。

また、訓練コース外の活動として、カウンターパートの意欲向上を目的に、フィリピン側から要請のあるロボット競技会を実施する予定である。

活動実績及び今後の活動計画の詳細については、付属資料6.を参照のこと。

(5) その他（準備委員会の設立）

TSC、TMUの下部組織として、コンピューター委員会及びファクトリーオートメーション（FA）委員会が設立された。

コンピューター委員会は、本プロジェクト内のワークステーション、パソコンの有効利用（職業訓練管理、職業訓練情報のデータベース化）について提案・活動を行う作業部会であり、構成メンバーは各セクション（事務を含む6セクション）のカウンターパート及び専門家である。

FA委員会は、平成9年度（1997年）に整備されるFA教材の有効活用について検討する作業部会であり、構成メンバーは関係セクション（機械、金属加工、制御）のカウンターパート及び専門家である。

これら委員会の設置はフィリピン側内部でトップダウンで指示されたものではなく、カウンターパートが自発的に、また他科との連携を図りつつ設立したものであり、TMC活動がフィリピン側に浸透し始めた事例として評価できる。

4 . 投入

4 - 1 フィリピン側投入

フィリピン側は、討議議事録（R/D）に沿って、必要な投入を行っている。

(1) カウンターパート配置

合計27名のカウンターパートが任命されており（付属資料1．ミニッツAppendix II参照）、カウンターパート配置に問題はない。

(2) 予算措置

予算措置については、1994年25万6,062ペソ（PhP）、1995年62万8,263PhP、1996年173万6,000PhPが配分されている。

(3) 施設及び設備

プロジェクトの執務に必要な事務室は1995年まで技術教育技能開発庁（TESDA）のビルディングに仮配置されていたが、職業訓練向上計画プロジェクト（PEVOTI）ビルディングの完成に伴い、プロジェクトのスタッフは1996年1月に新しいビルディングに移転した。

投入の詳細については、ミニッツを参照する。

4 - 2 日本側投入

(1) 専門家派遣

日本側はプロジェクトの開始から11名の長期専門家、10名の短期専門家を派遣している。

(2) 研修員受入

研修員受入に関しては、12名を日本研修に受け入れている。

(3) 機材供与

機材供与は約2億円の実績である。

投入の詳細については、ミニッツを参照する。

5 . 今後の実施計画

平成9年度（1997年）の年間実施計画の詳細については附属資料8 . 平成9年度活動計画を参照する。

6 . 団長所感

本巡回指導調査団は1997年1月14日から1月23日までフィリピン国を訪れた。その間、フィリピン職業訓練向上計画（PEVOTI）のプロジェクトサイト及びフィリピン政府実施機関である技術教育技能開発庁（TESDA）において日本人専門家及びカウンターパート等と会議を重ね、協力開始後2年半余を経過したプロジェクト活動の進捗状況の確認及び評価を行うとともに、今後の活動計画について検討を行った。

当該プロジェクトの目的は、訓練管理サイクル（TMC）手法に基づいてTESDAの技術職業教育訓練センター（NITVET）＝プロジェクト立ち上げ当時は国家人材青年協議会の職業訓練研究部（IVTD-NMYC）＝における職業訓練の実施能力を向上させることであり、単にハードウェアの技術移転とは大きく異なっている。したがって、調査団の大きな関心事項はソフトウェアの技術移転という観点から、移転の成果をどのように目に見える形で残せるかということであった。

この点に関しては、プロジェクト開始当初より、TMCマネージングユニット（TMU）、TMC運営委員会（TSC）等の委員会活動を進めるなど、いくつかの活動を行ってきており、これにより進捗状況は確認できた。さらに調査団としては、形として成果を残す観点から、TMC手法においては過程が重要であるとの認識を踏まえ、各活動の記録を残し、それを改善していくことが必要であるとの助言を行った。

当該プロジェクトにおけるTMC手法の定着に関して、そのコンセプトのカウンターパート等による理解という面では、かなりの程度進んでいると評価するが、カウンターパート等がそれをいかに主体的に、具体的活動の中で生かしていくかが今後の課題である。TMCのコンセプトの理解及び展開という点に関しては、この手法が参加型であるのに対し、従来のフィリピン国における業務の進め方はトップダウン方式であった。この認識のもと、TESDAには今後の組織改編の過程において、参加型の組織整備を進めていこうとする構想もあり、TMC手法の定着が大いに期待できるという感触を持った。

当該プロジェクトの実施機関であるTESDAは、1994年にTESDA法に基づきNMYCが教育文化省及び労働雇用省の一部を吸収して設立されたものである。したがって技術教育分野もその管轄下に入ることになり、プロジェクトの効果が波及していく範囲が拡大するという期待感もある一方で、NITVETの組織も整備中であり、1997年度から初めて自前の予算を持つなど、組織的基盤に若干の懸念が持たれていた。しかし、1997年度においては本プロジェクトに十分に予算が配布されるなど、TESDAへの改編がプロジェクトの遂行にマイナス影響を与えているとは認められなかった。

結論としては、施設整備及びカウンターパート配置にフィリピン側の更なる努力を求めたい部分もあり、技術移転においても若干の問題を残す分野があるが、その一方では予想以上の進展を

見せている分野もあるなど、全体としてはチーフアドバイザーをはじめ専門家の努力で、おおむね順調に進んでいると判断した。

付 属 資 料

- 1 . ミニッツ
- 2 . 訓練管理分野の活動実績と今後の計画
- 3 . カリキュラム及び教材開発分野の活動実績と今後の計画
- 4 . 機械分野の指導員訓練活動実績と今後の計画
- 5 . 金属加工分野の指導員訓練活動実績と今後の計画
- 6 . 制御分野の指導員訓練活動実績と今後の計画
- 7 . 投入実績及び活動実績
- 8 . 平成 9 年度活動計画

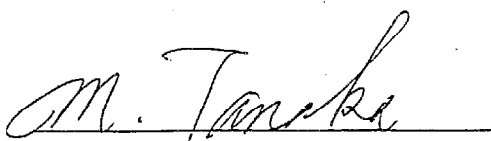
MINUTES OF DISCUSSIONS
BETWEEN
THE JAPANESE ADVISORY TEAM
AND THE AUTHORITIES CONCERNED
OF THE GOVERNMENT OF THE REPUBLIC OF THE PHILIPPINES
ON THE JAPANESE TECHNICAL COOPERATION
FOR
THE PROJECT FOR ENHANCING VOCATIONAL TRAINING OF THE
INSTITUTE, NITVET-TESDA, PHILIPPINES

The Japanese Advisory Team (hereinafter referred to as "the Team") organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and headed by Mr. Masaharu Tanaka, visited the Republic of the Philippines from January 14 to 23, 1997, for the purpose of assessing the performance of the Technical Cooperation for the Project for Enhancing Vocational Training of the Institute, NITVET-TESDA (hereinafter referred to as "the Project") from 1994 to 1997 and extending technical advice and guidance in planning and implementing its future programs and activities.

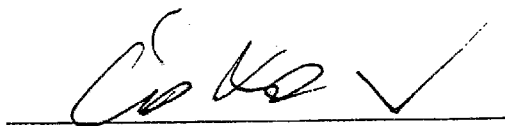
During its stay in the Republic of the Philippines, the Team exchanged views and had a series of discussions with Philippine authorities concerned.

As a result of the discussions, both sides came to the understanding concerning the matters referred to in the documents attached hereto.

Manila, 21 January 1997



Mr. Masaharu TANAKA
Leader
Japanese Advisory Team
Japan International
Cooperation Agency
Japan



Mr. Jose D. LACSON
Director General
Technical Education and Skills
Development Authority
Department of Labor and Employment
Republic of the Philippines

THE ATTACHED DOCUMENT

I. Review of Progress

1. The Team and the Philippine authorities concerned reviewed the progress of the activities of the Project since its commencement in April 1994 in accordance with the Record of Discussion (R/D), and both sides agreed that the Project has been implemented smoothly on the basis of the Status of Project Performance (hereinafter referred to as "Appendix I").
2. For the period 1994 to 1996, the Government of the Philippines and the Government of Japan have provided the following inputs:

(1) Japanese Side

1) Dispatch of Experts

The Japanese side dispatched to the Project eleven (11) Long-Term Experts and ten (10) Short-Term Experts for technology transfer.

Fields of Experts:

i) Long-Term Experts

Chief Advisor	1
Coordinator	2
Training Management	2
Curriculum and Training Materials Dev.	1
Controls	2
Machining	2
Metal Processing	1

ii) Short-Term Experts

Training Management	3
Curriculum and Training Materials Dev.	2
Controls	1
Machining	2
Metal Processing	2

2) Training of Counterparts in Japan

The Japanese side received twelve (12) Philippine counterparts personnel concerned with the Project for counterpart training in Japan.

i) The Training Areas:

Managers Training	2
Training Management	2
Curriculum and Training Materials Dev.	2
Controls	2
Machining	2
Metal Processing	2

3) Provision of Machinery and Equipment

The Japanese side provided and allocated approximately 200 million yen for machinery and equipment.

(2) Philippine Side

The Philippine side took necessary measures to allocate the following to the Project in line with the R/D.

1) Counterpart and Administrative Personnel

The Philippine side has provided counterpart and administrative personnel for the Project. The fields and name of the counterparts are shown in Appendix II.

2) Recurrent Budget

1994	PhP 256,062.00
1995	628,263.00
1996	1,736,000.00

3) Building and Facilities

The necessary space for workshops and office of the Project was temporarily provided in the TESDA Administration Building from 1994 until 1995. Upon the completion of the PEVOTI Building in December 1995, the Project staff transferred to the building in January 1996.

II. Achievement of the Project Activities

1. Establishment of Management System of the Project activities in line with TMC

The Management system in line with the TMC (Training Management Cycle) concept was established through the generally smooth implementation of TMU (Training Management Unit) and TSC (TMU Steering Committee) meetings.

2. Improvement of Training Management

The transfer of the fundamental knowledge on training management has almost been completed. Conduct of seminars are ongoing based on the knowledge which the Training Management Counterparts acquired from the technology transfer.

3. Development of Curriculum and Training Materials

The CTMD workshop was able to develop the process on Curriculum and Training Materials Development, transform it into a Course and validate it through the output of Complete Task Cube (CTC) for Automotive and Machining trades; and material on Automotive Mechanic Preventive Maintenance and Lathe Machine operation.

75

6

4. Improvement of trainers' training in the fields of Machining, Metal Processing and Controls

Despite the change in the original plan due to the delay in the completion of the building and arrival of equipment, all the trainers' training trials were generally implemented successfully.

III. Implementation Plan of the Project

1. The Project will be implemented in accordance with the 1997 - 1999 PEVOTI Workplan, shown in Appendix I.
2. Input from both sides
 - (1) Japanese Side
 - 1) Dispatch of Experts
Seven (7) long-term experts would continue to be dispatched for technology transfer to the counterpart personnel. The necessary number of short-term experts, based on the R/D, will be dispatched.
 - 2) Training of Counterparts in Japan
Four (4) counterparts personnel will be accepted for training in Japan.
 - 3) Provision of Machinery and Equipment
Machinery and equipment will be provided for effective implementation and technology transfer of the Project.
 - (2) Philippine Side
 - 1) Allocation of Budget
The Philippine side would allocate sufficient amount of budget to finance its approved 1997 Work and Financial Plan, shown in Appendix III.
 - 2) Counterpart Personnel
The Philippine side will assign necessary number of Counterpart personnel.

IV. Recommendations

The Team acknowledged TESDA for fully considering and utilizing the TMC concept of the Project in aiming for the development and improvement of its vocational training. Furthermore, in order to successfully achieve the goal of the Project, the Team recommends the following to the Project and the Philippine authorities concerned:

1. Management system of the Project activities in line with TMC.

Continue and strengthen the linkage of the Project to NITVET divisions through which constant exchange of ideas between the two parties may lead to the enhancement of the TMC concept. The function of NITVET may help the

Project in the development of a new system that will allow better dissemination about the TMC concept and sustenance of the successful outcome of the Project.

2. Recording the Process of the Project Activities

The process that the Project implemented in each activity in line with TMC should be recorded clearly. The recorded process should be improved substantially.

3. Training Management

In order to effectively experiment and implement the TMC, the TM Counterparts should be oriented on the functional concerns of NITVET. The utilization of the result of the experience which means the interface between and among the TM, CTM and technical workshops should be institutionalized. As necessary, the knowledge of the counterparts on the general implementation of the training management should be improved.

4. Curriculum and Training Materials Development

Completion of the CTC (Complete Task Cube) activities of CTMD workshop in Lathe Machine and promotion of the Automotive Curriculum and Training Materials Development Process in at least one of the mutually identified technical workshops, in the current year.

5. Counterparts Personnel

The Philippine side should give importance and exert more effort in acquiring a counterpart personnel for the Machining workshop.

The Authorities concerned of the Government of the Philippines gave the following recommendations:

1. While the TMC is the main focus of the Project, the Project should give more consideration on the technology concerns to maximize the use of equipment provided to the Project.
2. The coordination between and among the workshops should also be improved.
3. The Japanese side should present an alternative arrangement to CTM expert who is now on medical leave.
4. Currently, TESDA is undertaking a study on the reorganization of NITVET. The Philippine team suggests that the organization of NITVET should conform with the requirements of the Project.

22

PROJECT FOR ENHANCING VOCATIONAL TRAINING OF THE INSTITUTE (PEVOTI)
STATUS OF PROJECT PERFORMANCE*
 from APRIL, 1994 to DECEMBER, 1996

Appendix I

PROGRAM / ACTIVITY	TARGET (1994-99)	ACCOMPLISHMENT				REMARKS	REVISED PROGRAM / ACTIVITY	TARGET (1997-99)	PLAN		
		1994	1995	1996	TOTAL				1997	1998	1999
1.1 STEERING OF THE TMC COMMITTEE							1.1 STEERING OF THE TMC COMMITTEE				
1.1.1 Project Joint Committee Meetings	5 Min. of Mtngs		1 Minutes of Mtng	1 Minutes of Mtng	2 Minutes of Mtngs		1.1.1 Project Joint Committee Meetings	3 Min. of Mtngs	1 Min. of Mtng	1 Min. of Mtng	1 Min. of Mtng
1.1.2 TMC Steering Committee (TSC) Meetings	60 Min. of Mtngs	8 Min. of Mtngs	12 Min. of Mtngs	12 Min. of Mtngs	32 Min. of Mtngs		1.1.2 TMU Steering Committee (TSC) Meetings	30 Min. of Mtngs	12 Min. of Mtngs	12 Min. of Mtngs	6 Min. of Mtngs
1.1.3 TMC Managing Unit (TMU) Meetings	150 Min. of Mtngs	28 Min. of Mtngs	44 Min. of Mtngs	24 Min. of Mtngs	96 Min. of Mtngs		1.1.3 TMC Managing Unit (TMU) Meeting	54 Min. of Mtngs	24 Min. of Mtngs	24 Min. of Mtngs	6 Min. of Mtngs
1.2 MUTUAL CONSULTATION/ TECHNICAL GUIDANCE/ EVALUATION TEAMS	3 Min. of Meetings		1 Min. of Meeting		1 Min. of Meeting		1.2 MUTUAL CONSULTATION/ TECHNICAL GUIDANCE/ EVALUATION TEAMS	2 Min. of Meetings	1 Min. of Meeting		1 Min. of Meeting
2.1 BUILDING CONSTRUCTION		Completed									
2.1.1 Floor plan layouting			Completed								
2.1.2 Building construction inspection											
2.2 EQUIPMENT PROVISION			1994 equipment delivered in 1995	1995 equipment delivered in 1996			2.2 EQUIPMENT PROVISION		1996 equipment to be delivered in 1997	Additional Equip. for 1998	

CP

29

PROJECT FOR ENHANCING VOCATIONAL TRAINING OF THE INSTITUTE (PEVOTI)
STATUS OF PROJECT PERFORMANCE*
 from APRIL, 1994 to DECEMBER, 1996

PROGRAM / ACTIVITY	TARGET (1994-99)	ACCOMPLISHMENT				REMARKS	REVISED PROGRAM / ACTIVITY	TARGET (1997-99)	PLAN		
		1994	1995	1996	TOTAL				1997	1998	1999
2.3 STAFF DEVELOPMENT/ TECHNOLOGY TRANSFER TM							2.3 STAFF DEVELOPMENT/ TECHNOLOGY TRANSFER TM				
2.3.1 Management of Basic Training (LTE)	3 C/P	2 C/P	2 C/P		2 C/P						
2.3.2 Supervisory Training (Training Specialist-STE/LTE)	3 C/P			3 C/P	3 C/P	Simul. of Prod. Control, Nishikawa	2.3.1 Supervisory Training (Training Specialist-STE/LTE)	3 C/P	3 C/P		
2.3.3 Leadership Training (STE/LTE)	3 C/P			3 C/P	3 C/P	Tech. Ed. on Hi-Tech Age, Mori	2.3.2 Leadership Training (STE/LTE)	3 C/P	3 C/P		
2.3.4 Administrator Training (STE/LTE)	3 C/P		5 C/P		5 C/P	Voc'l. Tng. sys. Shiota, Other CP incl.	2.3.3 Management of Job Training (LTE) - Application and Improvement of Training Management	3 C/P	3 C/P		
2.3.5 Management of Job Training (LTE)	3 C/P		2 C/P		2 C/P						
2.3.6 Management of Trainees (LTE)	3 C/P										
2.3.7 Operations Research (LTE)	3 C/P			3 C/P	3 C/P	Initiated by Expert					
2.3.8 Computer Literacy (LTE)	3 C/P	11 C/P			11 C/P	Initiated by Expert, Other C/P incl.					
2.3.9 Unix Operating System and Administrator Course	1 C/P	1 C/P			1 C/P	Initiated by Expert					

- 25 -

PROJECT FOR ENHANCING VOCATIONAL TRAINING OF THE INSTITUTE (PEVOTI)
STATUS OF PROJECT PERFORMANCE*
 from APRIL, 1994 to DECEMBER, 1996

PROGRAM / ACTIVITY	TARGET (1994-99)	ACCOMPLISHMENT				REMARKS	REVISED PROGRAM / ACTIVITY	TARGET (1997-99)	PLAN		
		1994	1995	1996	TOTAL				1997	1998	1999
CTM							CTM				
2.3.10 Seminar on Training Delivery in Japan	3 C/P	3 C/P			3 C/P		2.3.4 Curriculum/ Training Materials Development Support System				
2.3.11 Curriculum/ Training Materials Development Support System - Job Analysis (Audio/Visual) - Photo Database	3 C/P		Eqpt. Installed / Tech. Transfer to CP	Development is on-going	3 C/P	On-going	- Job Analysis (Audio/Visual) - Photo Database	3 C/P	3 C/P		
2.3.12 OHP/ Transparency (LTE)	3 C/P			13 C/P	13 C/P	Init. by Expert, Other CP Incl.	2.3.5 Skills Analysis using AV (LTE)	3 C/P	3 C/P		
2.3.13 CTMD (LTE)	3 C/P			3 C/P	3 C/P	Initiated by Expert	2.3.6 Training methodology (LTE)	3 C/P	3 C/P		
2.3.14 Training Implementation (LTE)	3 C/P			3 C/P	3 C/P	Initiated by Expert	2.3.7 Slides making (LTE)	3 C/P	3 C/P		
2.3.15 Tng. Evaluation (LTE)	3 C/P			3 C/P	3 C/P	Initiated by Expert	2.3.8 Wall Chart/Illustration Preparation (LTE)	3 C/P	3 C/P		
2.3.16 CTM Applied in Automotive (STE)	3 C/P			3 C/P	3 C/P	Nakamura	2.3.9 Printing Equipment Operation (STE)	3 C/P	3 C/P		
2.3.17 CTM Applied in Machining (STE)	3 C/P			3 C/P	3 C/P	Yatsusaki	2.3.10 CTM applied in Electronics (STE)	3 C/P	3 C/P		
2.3.18 AV Equipment Operation (STE)	1 C/P			1 C/P	1 C/P	Initiated by Expert/ Ayong					

32

**PROJECT FOR ENHANCING VOCATIONAL TRAINING OF THE INSTITUTE (PEVOTI)
STATUS OF PROJECT PERFORMANCE***
from APRIL, 1994 to DECEMBER, 1996

PROGRAM / ACTIVITY	TARGET (1994-99)	ACCOMPLISHMENT				REMARKS	REVISED PROGRAM / ACTIVITY	TARGET (1997-99)	PLAN		
		1994	1995	1996	TOTAL				1997	1998	1999
CONTROL							CONTROL				
2.3.19 Mechatronic Design (LTE)	3 C/P		3 C/P		3 C/P	Initiated by Expert	2.3.11 FA System Engineering(STE)	3 C/P		3 C/P	
2.3.20 Programmable Logic Controller (STE)	3 C/P		3 C/P		3 C/P	Hatta	2.3.12 FA Communication Technique (STE)	3 C/P		3 C/P	
2.3.21 Electronic CAD and PCB Design (STE)	3 C/P					Chng. to FA System Eng.	2.3.13 Image Processing Technique (STE)	3 C/P			3 C/P
2.3.22 FA Communication Technique (STE)						Sched. in 1998	2.3.14 Power Electronics(LTE)	3 C/P			
2.3.23 Image Processing Technique (STE)	3 C/P					Sched. in 1999	2.3.15 Micromouse Devt. (LTE)	3 C/P			
2.3.24 PC Control (LTE)	3 C/P		3 C/P		3 C/P	Init. by Expert	2.3.16 FMS (LTE)	3 C/P	3 C/P		
2.3.25 Microcomputer Control System (LTE)	3 C/P			3 C/P	3 C/P	Init. by Expert	2.3.17 Robotics (LTE)	3 C/P	3 C/P		
2.3.26 Control Technology(LTE)	2 C/P			2 C/P	2 C/P	Init. by Expert	2.3.18 Automated Measurement(LTE)	2 C/P	2 C/P		
							2.3.19 Automated Process (LTE)	2 C/P		2 C/P	
							2.3.20 Servo control (LTE)	2 C/P		2 C/P	

- 27 -

46

27

**PROJECT FOR ENHANCING VOCATIONAL TRAINING OF THE INSTITUTE (PEVOTI)
STATUS OF PROJECT PERFORMANCE***
from APRIL, 1994 to DECEMBER, 1996

PROGRAM / ACTIVITY	TARGET (1994-99)	ACCOMPLISHMENT				REMARKS	REVISED PROGRAM / ACTIVITY	TARGET (1997-99)	PLAN		
		1994	1995	1996	TOTAL				1997	1998	1999
MACHINING							MACHINING				
2.3.27 Machining Center (STE)	3 C/P		2 C/P		2 C/P	Instal. of MC Init. by expert, Tomida	2.3.21 Machining Center - Custom Macro Programming (STE)	3 C/P	3 C/P		
2.3.28 Custom Macro (STE)	3 C/P					Sched. in 1998	2.3.22 Machining Center - Installation of Graphic Control (STE)	3 C/P	3 C/P		
2.3.29 NC Maintenance (STE)	3 C/P					Sched. in 1998	2.3.23 CNC Lathe Prog and App. - Installation (STE)	3 C/P	3 C/P		
2.3.30 Grinding Wheel (STE)	3 C/P					Chng. to NC Wire Cutting	2.3.24 Machining Center Prog. and App. (LTE)	3 C/P	3 C/P		
2.3.31 Mechanical Measurements (STE)	3 C/P		6 C/P		6 C/P	Init. by Expert Yasuda, other CP incl.	2.3.25 Conventional Lathe (LTE)	3 C/P	3 C/P	3 C/P	
							2.3.26 NC Wire Cutting	3 C/P			

-28-

157

**PROJECT FOR ENHANCING VOCATIONAL TRAINING OF THE INSTITUTE (PEVOTI)
STATUS OF PROJECT PERFORMANCE***
from APRIL, 1994 to DECEMBER, 1996

PROGRAM / ACTIVITY	TARGET (1994-99)	ACCOMPLISHMENT				REMARKS	REVISED PROGRAM / ACTIVITY	TARGET (1997-99)	PLAN		
		1994	1995	1996	TOTAL				1997	1998	1999
METAL							METAL				
2.3.35 Simulation (STE)	3 C/P		2 C/P		2 C/P	Miura	2.3.27 Multimedia (STE)	3 C/P	3 C/P		
2.3.36 Database Design (STE)	3 C/P			3 C/P	3 C/P	Yamada	2.3.28 Pressworking (LTE)	2 C/P	2 C/P		
2.3.37 Process Planning (STE)	3 C/P					Sched in 1998	2.3.29 Die Design (LTE)	2 C/P	2 C/P		
2.3.38 Multimedia (STE)	3 C/P					Sched in 1998	2.3.30 Die Making (LTE)	3 C/P	3 C/P		
2.3.39 Basic Die Design (LTE)	3 C/P		2 C/P		2 C/P	Initiated by Expert	2.3.31 CAE (LTE)	3 C/P	3 C/P		
2.3.40 Computer Aided Design (LTE)	3 C/P			3 C/P	3 C/P	Initiated by Expert	2.3.32 Process Planning (STE)	3 C/P		3 C/P	
2.3.41 Pressworking (LTE)	2 C/P			2 C/P	2 C/P	Initiated by Expert					
2.4 COUNTERPARTS TRAINING IN JAPAN							2.4 COUNTERPARTS TRAINING IN JAPAN				
2.4.1 Management Training (TSC Chairman)	1 C	Escartin			1 C						
2.4.2 Management Training	1 MC	Zurbano			1 MC						
TM							TM				
2.4.3 Management of Vocational Training	1 C/P					Chng. to Tng. Mgt. for 1997	2.4.1 Training Management	1 C/P	1 C/P	Meneses	
2.4.4 Management of Training-HRD Mgt. tng.	1 C/P		1 C/P		1 C/P	Mgt of VocI Tng., Abraham					
2.4.5 Administration of Training	1 C/P			1 C/P	1 C/P	Mgt of VocI Tng., Bathan					

PROJECT FOR ENHANCING VOCATIONAL TRAINING OF THE INSTITUTE (PEVOTI)
STATUS OF PROJECT PERFORMANCE*
 from APRIL, 1994 to DECEMBER, 1996

PROGRAM / ACTIVITY	TARGET (1994-99)	ACCOMPLISHMENT				REMARKS	REVISED PROGRAM / ACTIVITY	TARGET (1997-99)	PLAN		
		1994	1995	1996	TOTAL				1997	1998	1999
CTM											
2.4.6 Curriculum Development	1 C/P			1 C/P	1 C/P	Ignacio	CTM 2.4.2 Desktop Publishing	1 C/P	Panem		
2.4.7 AV Communication Media	1 C/P		1 C/P		1 C/P	Mutuc					
2.4.8 Training Materials Development Course	1 C/P					Chng. to Desktop Publishing for 1997					
CONTROLS							CONTROLS 2.4.3 High Tech Robot	1 C/P	Burgos		
2.4.9 Factory Automation System	1 C/P		1 C/P		1 C/P	PLC, Abasolo					
2.4.10 Computer Control System	1 C/P			1 C/P	1 C/P	Mechatronics, Viernez					
2.4.11 Factory Automation System Design	1 C/P					Chng. to High Tech Robot for 1997					
MACHINING											
2.4.12 Machining Center Programming	1 C/P		1 C/P			Arriola					
2.4.13 Machining Center Operation	1 C/P		1 C/P			Casco					
2.4.14 NC Wire cutting	1 C/P					Incl. in Additional for 1998					
METALS							METALS 2.4.4 Production Engineering	1 C/P	Antonio		
2.4.15 Die Designing	1 C/P			1 C/P	1 C/P	Tumanguil					
2.4.16 Pressworking	1 C/P		1 C/P		1 C/P	Belda					
2.4.17 Die making	1 C/P					Chng. to Prod. Eng. for 1997					
2.4.18 Die Design (Malaysia)	1 C/P		1 C/P		1 C/P	Tumanguil	ADDITIONAL	4 C/P		4 C/P	

PROJECT FOR ENHANCING VOCATIONAL TRAINING OF THE INSTITUTE (PEVOTI)
STATUS OF PROJECT PERFORMANCE*
 from APRIL, 1994 to DECEMBER, 1996

PROGRAM / ACTIVITY	TARGET (1994-99)	ACCOMPLISHMENT				REMARKS	REVISED PROGRAM / ACTIVITY	TARGET (1997-99)	PLAN										
		1994	1995	1996	TOTAL				1997	1998	1999								
3.1 MANAGERS TRAINING TRAINORS/ TRAINERS TRAINING TM 3.1.1 Management of Job Training - Mgt. of Trainees - Mgt. of Safety and Sanitation 3.1.2 Supervisory Training (Training Specialist) 3.1.3 Leadership Training (Training Managers) 3.1.4 Administrator Train- ing (Directors) 3.1.5 Computer Literacy	40 Tnrs			20 Tnrs	20 Tnrs		3.1 MANAGERS TRAINING TRAINORS/ TRAINERS TRAINING TM 3.1.1 Management of Job Training - Application of Training Manage- ment 3.1.2 Supervisory Train- ing (Training Specialist) 3.1.3 Leadership Training (Training Manag- ers)	60 Tnrs	60 Tnrs										
	60 Tnrs			60 Tnrs	60 Tnrs	Conducted by STE with CP.		30 Tnrs		30 Tnrs									
	60 Tnrs		60 Tnrs		60 Tnrs	Conducted by STE with CP.		45 Tnrs	45 Tnrs										
	50 Tnrs							45 Tnrs	45 Tnrs										
	40 Tnrs																		

PROJECT FOR ENHANCING VOCATIONAL TRAINING OF THE INSTITUTE (PEVOTI)
STATUS OF PROJECT PERFORMANCE*
 from APRIL, 1994 to DECEMBER, 1996

PROGRAM / ACTIVITY	TARGET (1994-99)	ACCOMPLISHMENT				REMARKS	REVISED PROGRAM / ACTIVITY	TARGET (1997-99)	PLAN		
		1994	1995	1996	TOTAL				1997	1998	1999
CTM											
3.1.6 Training Materials Development	30 Tnrs		13 Tnrs	46 Tnrs	59 Tnrs	Prog changed to Enhancing Curriculum & TM Preparation	CTM 3.1.4 Enhancing Curriculum and Training Materials Devt.	60 Tnrs	60 Tnrs	60 Tnrs	60 Tnrs
3.1.7 Automotive Mfr.	20 Tnrs					Prog changed to CTM Process Manual Devt.	3.1.5 Training Materials Devt.	20 Tnrs	20 Tnrs	20 Tnrs	20 Tnrs
3.1.8 Electrical	20 Tnrs										
3.1.9 Machining	20 Tnrs										
CONTROLS							CONTROLS				
3.1.10 PC Control System	30 Tnrs		10 Tnrs	5 Tnrs	15 Tnrs	Changed to Computer Control System	3.1.6 Computer (PC) Control System	10 Tnrs	10 Tnrs		
3.1.11 PLC Control	30 Tnrs			18 Tnrs	18 Tnrs		3.1.7 Microcomputer Hardware Development/ Robot Competition	10 Tnrs	5 Tnrs	5 Tnrs	
3.1.12 Microcomputer Hardware Development	30 Tnrs			15 Tnrs	15 Tnrs	Microcomputer Control System	3.1.8 Servo Control	5 Tnrs	5 Tnrs	10 Tnrs	
3.1.13 Pneumatic Control System	25 Tnrs			17 Tnrs	17 Tnrs	Pneu. Control Sys. using PLC	3.1.9 Automated Measurements	15 Tnrs	5 Tnrs	5 Tnrs	
3.1.14 PLC Control System	20 Tnrs					Chngd to Ind. Robotic	3.1.10 Automated Process Control	10 Tnrs	5 Tnrs	5 Tnrs	
3.1.15 Pneumatic System Design and Maintenance	15 Tnrs					Chngd to Ind. Proc. Control	3.1.11 Industrial Robotics	5 Tnrs	5 Tnrs	10 Tnrs	
3.1.16 Sensors and Interfacing	10 Tnrs					Sched. in 1998/1999	3.1.12 Sensors and Interfacing	15 Tnrs		10 Tnrs	5 Tnrs
3.1.17 FA Control System	5 Tnrs					Sched. in 1998/1999	3.1.13 Factory Automation	5 Tnrs		5 Tnrs	5 Tnrs

2

PROJECT FOR ENHANCING VOCATIONAL TRAINING OF THE INSTITUTE (PEVOTI)
STATUS OF PROJECT PERFORMANCE*
 from APRIL, 1994 to DECEMBER, 1996

PROGRAM / ACTIVITY	TARGET (1994-99)	ACCOMPLISHMENT				REMARKS	REVISED PROGRAM / ACTIVITY	TARGET (1997-99)	PLAN		
		1994	1995	1996	TOTAL				1997	1998	1999
MACHINING											
3.1.18 Surface Grinding	30 Tnrs					Eqpt. not available	MACHINING				
3.1.19 Conventional Lathe	30 Tnrs					Sched in 1997	3.1.14 Conventional Lathe	30 Tnrs	15 Tnrs	15 Tnrs	
3.1.20 Machining Center Programming I	30 Tnrs			12 Tnrs	12 Tnrs	Chngd. to MC Prog and Appl. Join with MC Prog. and Appl.	3.1.15 Machining Center Programming and Application	15 Tnrs	15 Tnrs		
3.1.21 Machining Center Programming II	25 Tnrs						3.1.16 Custom Macro Programming	30 Tnrs		15 Tnrs	15 Tnrs
3.1.22 Custom Macro Programming III	20 Tnrs					Sched in 1998	3.1.17 NC lathe Programming III	30 Tnrs	15 Tnrs	15 Tnrs	
3.1.23 NC lathe Programming III	15 Tnrs					Sched in 1997	3.1.18 NC Wire Cutting	30 Tnrs		15 Tnrs	15 Tnrs
3.1.24 NC Wire Cutting	10 Tnrs					Sched in 1998					
3.1.25 Removing and Installing Grinding wheel	5 Tnrs		11 Tnrs	16 Tnrs	27 Tnrs	Chngd. to Pedestal Grinder Maintenance					

- 33 -

[Handwritten signature]

17

**PROJECT FOR ENHANCING VOCATIONAL TRAINING OF THE INSTITUTE (PEVOTI)
STATUS OF PROJECT PERFORMANCE***
from APRIL, 1994 to DECEMBER, 1996

PROGRAM / ACTIVITY	TARGET (1994-99)	ACCOMPLISHMENT				REMARKS	REVISED PROGRAM / ACTIVITY	TARGET (1997-99)	PLAN		
		1994	1995	1996	TOTAL				1997	1998	1999
METALS							METALS				
3.1.26 Computer-Aided Design (CAD)	30 Tnrs		8 Tnrs	23 Tnrs	31 Tnrs		3.1.21 Computer-Aided Design (CAD)	20 Tnrs	20 Tnrs		
3.1.27 Pressworking	30 Tnrs			5 Tnrs			3.1.22 Pressworking	25 Tnrs	10 Tnrs	15 Tnrs	
	30 Tnrs			5 Tnrs			3.1.23 Die Designing I	20 Tnrs	20 Tnrs		
13.1.28 Pressworking II	25 Tnrs					Combined with Pressworking	3.1.24 Die Designing II	20 Tnrs	10 Tnrs	10 Tnrs	
	20 Tnrs					Sched. in 1997	3.1.25 Die Making	20 Tnrs	5 Tnrs	15 Tnrs	
3.1.29 Die Designing I	15 Tnrs					Sched. in 1997	3.1.26 Computer-Aided Engineering (CAE)	5 Tnrs		5 Tnrs	
3.1.30 Die Designing II	10 Tnrs					Combined with Die Designing I					
3.1.31 Die Making I	5 Tnrs					Combined with Die Designing II					
3.1.32 Die Making II											
3.1.33 Computer-Aided Engineering (CAE)						Sched. in 1998					

-34-

PROJECT FOR ENHANCING VOCATIONAL TRAINING OF THE INSTITUTE (PEVOTI)
STATUS OF PROJECT PERFORMANCE*
 from APRIL, 1994 to DECEMBER, 1996

PROGRAM / ACTIVITY	TARGET (1994-99)	ACCOMPLISHMENT				REMARKS	REVISED PROGRAM / ACTIVITY	TARGET (1997-99)	PLAN		
		1994	1995	1996	TOTAL				1997	1998	1999
4.1 SYSTEMS DEVELOPMENT											
4.1.1 Computer - Real Time Training Management System	1 System		Eqpt installed/ CP trained	on-going		Not pursued by CP; Expertise not available	4.1.1 Curriculum/Training Materials Development Support System	1 System operational	1 System operational	1 System operational	
4.1.2 Curriculum/Training Materials Development Support System	1 System		Eqpt installed/ CP trained	on-going	on-going		4.1.2 CTM Process Manual Devt.	1 Process Manual	1 Improved Process Manual	1 Improved Process Manual	
4.1.3 CTM Process Manual Devt. Applied in Auto Trade, Machining	1 Process Manual			1 Process Manual	1 Process Manual		4.1.3 CTM process Applied in Auto Trade, Machining, Electronics				
4.1.4 Development of Training Management Guide Book	1 Guide Book			1 Guide Book	1 Guide Book		4.1.4 Development of Training Management Guide Book	1 Guide book	1 Guide book		
5.1 SURVEYS							5.1 BENCHMARK SURVEY				
5.1.1 Institutional Surveys	4 Svy. Rep.	1 Svy. Rep.			1 Svy. Rep.		5.1.1 Benchmark Survey	1 Svy. Rep.	1 Svy. Rep.		
5.1.2 Industry Surveys	4 Svy. Rep.	1 Svy. Rep.			1 Svy. Rep.		5.1.2 Curriculum and Teaching Materials Utilization Surveys- Consumer Electronics	1 Svy. Rep.	1 Svy. Rep.		
5.1.3 Curriculum and Teaching Materials Utilization Surveys	3 Surveys Reports		1 Svy. Rep.		1 Svy. Rep.						

* Based on Morishima Mission Report

W

**PROJECT FOR ENHANCING VOCATIONAL TRAINING OF THE INSTITUTE (PEVOTI)
STATUS OF PROJECT PERFORMANCE***
from APRIL, 1994 to DECEMBER, 1996

PROGRAM / ACTIVITY	TARGET (1994-99)	ACCOMPLISHMENT				REMARKS	REVISED PROGRAM / ACTIVITY	TARGET (1997-99)	PLAN		
		1994	1995	1996	TOTAL				1997	1998	1999
5.2 TECHNICAL CONSULTATIVE CONFERENCE 5.2.1 Institutional Consultative Conferences 5.2.2 Industry Consultative Conferences	4 Reports		1 Report		1 Report		5.2 CONSULTATIVE CONFERENCE 5.2.1 Consultative Conference	1 Report		1 Report	
5.3 TRAINING CENTER OPERATIONS RESEARCH 5.3.1 Training Center Operations/ Training needs of Trainor	4 Reports 1 Report		1 Report		1 Report	Initiated by LTE	5.3 COMPUTERIZATION OF PROJECT MANAGEMENT 5.3.1 PEVOTINET	1 System	1 System		
6.1 PROJECTS/ PROGRAMS PROMOTIONS 6.1.1 Preparation/ Distribution of brochures 6.1.2 Preparations/ distributions of Newsletter	3 Brochures 1 Issue	1 Brochure 1 Issue	1 Brochure 4 Issues		2 Brochures 5 Issues	Initiated by LTE	5.4 PROJECTS/ PROGRAMS PROMOTIONS 6.1.1 Preparation/ Distribution of Brochures 6.1.2 Preparations/ distributions of Newsletter	1 Brochure 9 Issues		1 Brochure 4 Issues	1 Issue

- 36 -

Appendix II

Required Philippine Counterpart Personnel (as per ROD)		Assigned Personnel
Project Director	- 1	Jose D. Lacson
TSC Chairman	- 1	Jose D. Escartin
Program Manager	- 1	Alfredo Regondola
Division Chiefs of NITVET	- 4	Anselmo Pegtuan (CDD)
	-----	Luzviminda Santos (TRDD)
	- 7	Carlos Villanueva (TQD)
		Manuel Ferreria (TD)
Full-time Counterpart Personnel in TMU		
Managing Coordinator	- 1	Felicidad Zurbano
Staff for Machining	- 1	Pascual Arriola
Staff for Metal Processing	- 1	Juanito Belda
Staff for Controls	- 1	Severino Burgos
Staff for Training Mgt.	- 1	Rick Abraham
Staff for Curr. & Training	- 1	Rosario Ignacio
Materials Development	-----	
	- 6	
Full-time Counterpart Personnel in Workshop for Training Trials		
Staff for Machining	- 1	1. Eduardo Casco 2.
Staff for Metal Processing	- 2	1. Roberto Tumanguil 2. Charles Antonio
Staff for Controls	- 2	1. Julford Abasolo 2. Franklin Viernes
Staff for Training Management	- 2	1. Wilma Bathan 2. Joyce Meneses
Staff for Curr. and Training	- 2	1. Rizaldy Mutuc 2. Agnes Panem
Materials Development	-----	
	- 9	

CA

MA

Part-time Counterpart Personnel in Division (- 6)

Other Necessary Personnel:

Admin Staff	- 1	1. Ana Fe Ramos
	- 1	2. Elena de Roma
	- 1	3. Candido Dapulayan
	- 1	4. Romeo Laresma
	- 1	5. Elmar Magbujos

	- 5	
TOTAL	27	

27

PROJECT FOR ENHANCING VOCATIONAL TRAINING OF THE INSTITUTE (PEVOTI)
WORK AND FINANCIAL PLAN, CY 1997

Appendix III

KRAs	Performance Indicator	Output	Programs/ Activities	Schedule of Implemen- tation	Personnel Assigned	Budgetary Requirements			Remarks
						GOP	GOJ	Total	
Project policies are formulated. Programs/ activities based on TMC are planned, coordinated and evaluated	Project Policies	Project Policies	Steering of TMC Committees:	Twice a month	C. Dapulayan	6,000.00			<i>Areas of Concern:</i> <ul style="list-style-type: none"> Status/problems of training courses TMC-based Workplan Tasks/activities of TSC Agenda/docu-mentation for TSC Meeting
	TMC Concept/ Techniques	TMC Concepts/ Techniques	• TMU Meetings			07 - 6,000.00			
	Workplan based on TMC	1997 Workplan							
	Reports on TMC Programs/ Activities	8 Monthly Reports							
TMC Evaluated		4 Quarterly Reports	• TSC Meetings	Once a month	A. Ramos	18,000.00			<i>Areas of Concern:</i> <ul style="list-style-type: none"> Approval of TMU Workplan Tasks of TSC Members in relation fot Workplan Performance in relation to Plan Issues towards improving training of NITVET
		2 Semestral Reports				07 - 3,000.00			
		1 Annual Report		17 - 15,000.00					
		Project Evalua-tion Report							
Sub-Total						24,000.00			

237

PROJECT FOR ENHANCING VOCATIONAL TRAINING OF THE INSTITUTE (PEVOTI)
 WORK AND FINANCIAL PLAN, CY 1997

Appendix III

KRAs	Performance Indicator	Output	Programs/ Activities	Schedule of Implementation	Personnel Assigned	Budgetary Requirements			Remarks
						GOP	GOJ	Total	
			<ul style="list-style-type: none"> Joint Committee Meeting 	January	A. Ramos	<u>1,440.00</u> 07 - 600.00 17 - 840.00			<i>Areas of Concern:</i> <ul style="list-style-type: none"> Project progress/ achievements in relation to Workplan Major Issues on PEVOTI in relation to directions of TESDA
			<ul style="list-style-type: none"> Consultation/ Technical Guidance/Evaluation Meeting 	January	A. Ramos	<u>44,930.00</u> 07 - 7,500.00 17 - 37,430.00			<i>Areas of Concern:</i> <ul style="list-style-type: none"> Resolution on issues, guidance, evaluation reports
	Benchmark Survey Reports	Benchmark Survey Reports of PEVOTI C/P on TMC and Related Technology	<ul style="list-style-type: none"> Conduct of Benchmark Surveys 	Sept.- Oct.	Workshop Coordinator	<u>18,000.00</u> 07 - 10,500.00 03 - 7,500.00			
Sub-Total						64,370.00			

PROJECT FOR ENHANCING VOCATIONAL TRAINING OF THE INSTITUTE (PEVOTI)
WORK AND FINANCIAL PLAN, CY 1997

Appendix III

KRAs	Performance Indicator	Output	Programs/ Activities	Schedule of Implemen- tation	Personnel Assigned	Budgetary Requirements			Remarks
						GOP	GOJ	Total	
Counterparts Personnel (C/Ps) in PEVOTI/ NITVET/ROs Trained by Long-term Expert (LTE)/ Short-term Expert (STE) in Japan	C/Ps developed on TMC and Related Technology	PEVOTI C/Ps developed on TMC and Related Technology Monitoring Sheets for Technology Transfer Programs	Technology Transfer Programs		LTE/Coordi- nators				
			• By Long- term Experts						
			* Skills Analysis (using AV)	Apr.-May	Mr. Yagi				
			* Training Metho- dology	May-June	Mr. Yagi				
			* Slides Making	Jul.-Aug.	Mr. Yagi				
Sub-Total						00.00			



29

PROJECT FOR ENHANCING VOCATIONAL TRAINING OF THE INSTITUTE (PEVOTI)
 WORK AND FINANCIAL PLAN, CY 1997

Appendix III

KRAs	Performance Indicator	Ouput	Programs/ Activities	Schedule of Implemen- tation	Personnel Assigned	Budgetary Requirements			Remarks
						GOP	GOJ	Total	
			* Wall Chart Prepara- tion/Pre- paring Illus- trations	Jul.-Aug.	Mr. Yagi				
			* Printing Equipment Operation	December	Mr. Yagi				
			* TMC Guidebook Prep'n.		Mr.Nishikawa				
			* TMC-based Managers, Supervi- sory Trng.		Mr.Nishikawa				
			* Power Electro- nics	Jan.- Feb.	Mr. Tatekabe				
			* Micro Mouse Develop- ment	March	Mr. Tatekabe				
			* FMS	April	Mr. Tatekabe				
			* Robotics	May-July	Mr. Tatekabe				
Sub-Total								00.00	

GP

31

PROJECT FOR ENHANCING VOCATIONAL TRAINING OF THE INSTITUTE (PEVOTI)
 WORK AND FINANCIAL PLAN, CY 1997

Appendix III

KRAs	Performance Indicator	Output	Programs/ Activities	Schedule of Implement- ation	Personnel Assigned	Budgetary Requirements			Remarks
						GOP	GOJ	Total	
			* Automated Mea- sure-ments	September	Mr. Tatekabe				
			* Automa- ted Process	October	Mr. Tatekabe				
			* Servo Control	November	Mr. Tatekabe				
			* CNC Lathe Machine Program- ming and Applica- tion	February	Mr. Kume				
Sub-Total						00.00			

157

PROJECT FOR ENHANCING VOCATIONAL TRAINING OF THE INSTITUTE (PEVOTI)
 WORK AND FINANCIAL PLAN, CY 1997

Appendix III

KRAs	Performance Indicator	Output	Programs/ Activities	Schedule of Implementation	Personnel Assigned	Budgetary Requirements			Remarks
						GOP	GOJ	Total	
			* Machining Center Programming and Application	March	Mr. Kume				
			* Conventional Lathe	Mar.-Apr.	Mr. Kume				
			* Press-working	February	Mr. Kowatari				
			• By Short-term Expert		STE/Coun-terparts				
			* CTM Development (Electronic/Electrical)	Aug.-Oct.					
Sub-Total						00.00			

LA

PROJECT FOR ENHANCING VOCATIONAL TRAINING OF THE INSTITUTE (PEVOTI)
 WORK AND FINANCIAL PLAN, CY 1997

Appendix III

KRAs	Performance Indicator	Ouput	Programs/ Activities	Schedule of Implemen- tation	Personnel Assigned	Budgetary Requirements			Remarks
						GOP	GOJ	Total	
			* Goal Management/ Organizational Management	November					
			* Installation of Graphic Control for NC Lathe Machine	Jan. Feb.					
			* Installation of Graphic Control for Machi-ning	April					
Sub-Total						00.00			

Ue

157

PROJECT FOR ENHANCING VOCATIONAL TRAINING OF THE INSTITUTE (PEVOTI)
 WORK AND FINANCIAL PLAN, CY 1997

Appendix III

KRAs	Performance Indicator	Output	Programs/ Activities	Schedule of Implemen- tation	Personnel Assigned	Budgetary Requirements			Remarks	
						GOP	GOJ	Total		
	Counterparts Trained	3 Counter-parts Trained	* Custom Macro Program- ming	May						
			* Multime- dia	November						
			• Training in Japan/3rd World Countries			LTE/Coun- terparts				
			* Desktop Publis- hing	June- Sept.		A. Panem				
			* Trng. Mngt.	Sept. - Nov.		J. Meneses				
			* Product Enginee- ring	Apr. - Dec.		C. Antonio				
			* High Tech Robot	Aug'97 Feb'98		S. Burgos				
Sub- Total						00.00				

LA

PROJECT FOR ENHANCING VOCATIONAL TRAINING OF THE INSTITUTE (PEVOTI)
 WORK AND FINANCIAL PLAN, CY 1997

Appendix III

KRAs	Performance Indicator	Output	Programs/ Activities	Schedule of Implementation	Personnel Assigned	Budgetary Requirements			Remarks
						GOP	GOJ	Total	
Training Managers Trng. Programs are Developed and Conducted based on TMC	Managers Trained based on TMC	150 Managers Trained	Managers Training Based on TMC			680,550.00 =====			
		45	• Simulation	May	J. Meneses	204,400.00			
				July		02-189,000.00			
				October		07 - 9,400.00			
						17 - 6,000.00			
		60	• Managers Training	April	R. Abraham	271,150.00			
				July		02-252,000.00			
				Sept.		07 - 12,400.00			
						17 - 6,750.00			
		45	• Leadership Training	May	W. Bathan	205,000.00			
		August		02-189,500.00					
		Oct.		07 - 9,500.00					
				17 - 6,000.00					
Sub-Total						680,550.00			

-47-

257

PROJECT FOR ENHANCING VOCATIONAL TRAINING OF THE INSTITUTE (PEVOTI)
WORK AND FINANCIAL PLAN, CY 1997

Appendix III

KRAs	Performance Indicator	Output	Programs/ Activities	Schedule of Implemen- tation	Personnel Assigned	Budgetary Requirements			Remarks
						GOP	GOJ	Total	
Trainors of Trainers and Direct Trainers Training Programs are developed and conducted based on TMC		250 Trainors of Trainers/ Direct Trainors Trained 60	<ul style="list-style-type: none"> Enhancing Curriculum and Training Materials Development 	March	R. Ignacio	1,687,325.00 =====			
				Apr.		358,250.00			
				Jul.		02-336,000.00 07- 15,500.00 17- 6,750.00			
		20	<ul style="list-style-type: none"> Materials Development 	Oct.	R. Mutuc	123,125.00			
		Nov.			02-112,000.00				
		Dec.			07- 5,500.00 17- 5,625.00				
		30	<ul style="list-style-type: none"> Trng. Mgt. 	Apr.	R. Abraham	9,750.00			
		May			07-3,000.00				
		June			17-6,750.00				
							J. Meneses	9,750.00	
						07-3,000.00			
						17-6,750.00			
					W. Bathan	9,750.00			
						07-3,000.00			
						17-6,750.00			
Sub-Total						510,625.00			

Go

62

PROJECT FOR ENHANCING VOCATIONAL TRAINING OF THE INSTITUTE (PEVOTI)
 WORK AND FINANCIAL PLAN, CY 1997

Appendix III

KRAs	Performance Indicator	Output	Programs/ Activities	Schedule of Implemen- tation	Personnel Assigned	Budgetary Requirements			Remarks
						GOP	GOJ	Total	
		10	• PC Control System	June	F. Viernes	82,100.00 02-77,000.00 07-3,600.00 17-1,500.00			
		5	• Servo Control System	November	F. Viernes	41,725.00 02-38,500.00 07- 2,100.00 17- 1,125.00			
		5	• Micro Computer Hardware Dev't. System	June	S. Burgos	41,725.00 02-38,500.00 07- 2,100.00 17- 1,125.00			
		5	• Automated Process Control System	October	J. Abasolo	41,725.00 02-38,500.00 07- 2,100.00 17- 1,125.00			
		5	• Industrial Robotics	May	J. Abasolo	41,725.00 02-38,500.00 07- 2,100.00 17- 1,125.00			
Sub-Total						249,000.00			

CP

62

PROJECT FOR ENHANCING VOCATIONAL TRAINING OF THE INSTITUTE (PEVOTI)
WORK AND FINANCIAL PLAN, CY 1997

Appendix III

KRAs	Performance Indicator	Output	Programs/ Activities	Schedule of Implementation	Personnel Assigned	Budgetary Requirements			Remarks
						GOP	GOJ	Total	
		5	• Automated Measurements	Sept.	F. Viernes	41,725.00			
						02-38,500.00			
						07- 2,100.00			
						17- 1,125.00			
		15	• Conventional Lathe	June	Casco	127,375.00			
				Aug.		02-115,500.00			
				Sept.		07- 8,500.00			
				Sept.		17- 3,375.00			
		15	• CNC Lathe Programming and Application	July	Casco/ Arriola	127,375.00			
				Sept.		02-115,500.00			
				Nov.		07- 8,500.00			
				Nov.		17- 3,375.00			
		15	• Machining Center Programming and Application	June	Arriola/ Casco	127,375.00			
				Aug.		02-115,500.00			
				Oct.		07- 8,500.00			
				Oct.		17- 3,375.00			
		20	• CAD	March	J. Belda	163,975.00			
				May		02-154,000.00			
				July		07- 6,600.00			
				July		17- 3,375.00			
Sub-Total						587,825.00			

62

LA

PROJECT FOR ENHANCING VOCATIONAL TRAINING OF THE INSTITUTE (PEVOTI)
 WORK AND FINANCIAL PLAN, CY 1997

Appendix III

KRAs	Performance Indicator	Output	Programs/ Activities	Schedule of Implemen- tation	Personnel Assigned	Budgetary Requirements			Remarks
						GOP	GOJ	Total	
CTM Process Improved	CTM Process Manual Developed/ Improved	10	• Pressworking	June Sept.	J. Belda	85,250.00 02- 77,000.00 07- 6,000.00 17- 2,250.00			
		15	• Die Design (Single/ Compound Die)	April Aug.	R. Tumanguil	126,250.00 02-115,500.00 07- 8,500.00 17- 2,250.00			
		10	• Die Design (Progressive Die)	March June	R. Tumanguil	85,250.00 02- 77,000.00 07- 6,000.00 17- 2,250.00			
		5	Die Making (Single/ Compound Die)	October	R. Tumanguil	43,125.00 02- 38,500.00 07- 3,500.00 17- 1,125.00			
		CTM Process Manual	Development/ Improvement of CTM Pro-cess Manual				193,000.00 =====		
		2 Curricula	• Improve-ment of Curriculum (Expansion of Com-plete Task Cube)						
Sub-Total						339,875.00			

CP

- 51 -

62

PROJECT FOR ENHANCING VOCATIONAL TRAINING OF THE INSTITUTE (PEVOTI)
 WORK AND FINANCIAL PLAN, CY 1997

Appendix III

KRAs	Performance Indicator	Ouput	Programs/ Activities	Schedule of Implemen- tation	Personnel Assigned	Budgetary Requirements			Remarks
						GOP	GOJ	Total	
			- Automotive Trade	May	R. Mutuc	64,000.00 02-49,700.00 07-14,300.00			
			- Machining Trade	June	A. Panem/ R. Mutuc	64,000.00 02-49,700.00 07-14,300.00			
		CTM Process Manual Validated	• Validation of CTM Process Manual (Lathe Machine Operation)	May	A. Panem	65,000.00 02-11,000.00 07-54,000.00			
		1 Curriculum/Trng. Materials	• Curriculum and Trng. Materials Dev't. - Electro-nics/Electrical (Tentative)	Aug. Sept.	R. Ignacio				
Sub-Total						193,000.00			

Caf

69

PROJECT FOR ENHANCING VOCATIONAL TRAINING OF THE INSTITUTE (PEVOTI)
WORK AND FINANCIAL PLAN, CY 1997

Appendix III

KRAs	Performance Indicator	Ouput	Programs/ Activities	Schedule of Implemen- tation	Personnel Assigned	Budgetary Requirements			Remarks
						GOP	GOJ	Total	
Training Management Process Improved	Training Mgt. Guidebook Developed	Trng. Mgt. Guidebook	Training Management Process Improvement	April - Dec.	R. Abraham	07-7,500.00			
Project Promoted	Project Promo Materials	Project Promo Materials	Publication of Brochures	Jan.-Dec.	C. Dapulayan	07-5,000.00			
Support to TMC Operation	Operational PEVOTINet	Operationalized PEVOTINet	Computerization of TMC Operation	Jan. - Dec.	A. Ramos	07-5,000.00			
	General Services Extended	Extended General Services	General Services/ Maintenance	Jan. - Dec.		1,156,000.00			
						03- 72,000.00			
						04- 120,000.00			
						05- 48,000.00			
						06- 280,000.00			
						07- 36,000.00			
						08- 60,000.00			
						14- 540,000.00			
Sub-Total						1,173,500.00			
Grand Total						3,822,745.00			

Prepared by:

Recommending Approval:

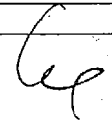
Approved by:

FELICIDAD B. ZURBANO
Project Managing Coordinator

ALFREDO A. REGONDOLA
Project Manager

JOSE D. ESCARTIN
TSC Chairman

JOSE D. LACSON
Project Director



SUMMARY OF BUDGETARY REQUIREMENTS

02 - P2,266,900.00

03 - 79,500.00

04 - 120,000.00

hl

05 - 48,000.00

06 - 280,000.00

07 - 295,000.00

08 - 60,000.00

14 - 540,000.00

17 - 133,145.00

P3,822,745.00
=====

27

PEVOT I

訓練管理分野 活動計画・実績(1994~1999)

No.	目標項目	年度	1994				1995				1996				1997				1998				1999			
		四半期	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
0 1	【ニーズ調査】 訓練施設調査	計画				—								—				—				—				
		実施	①	—			②	—			③	—														
0 2	企業調査	計画				—								—				—				—				
		実施	1	—			2	—			3	—														
0 3	【カウンターパート技術移転】 日本研修 (JICA)	計画							—				—				—									
		実施							—				—													
0 4	長期専門家からの技術移転	計画				—			—				—				—				—				—	
		実施	4	—			5	—			6	—														
0 5	短期専門家からの技術移転	計画				—			—				—				—				—				—	
		実施			④	—			⑤	—			⑥	—												
0 6	【管理者・指導員訓練セミナー】 長期専門家担当	計画				—			—				—				—				—				—	
		実施							⑦	—																
0 7	短期専門家担当	計画				—			—				—				—				—				—	
		実施							⑧	—			⑨	—												
0 8	カウンターパート担当	計画				—			—				—				—				—				—	
		実施							7	—																

訓練分野活動実績 (1994年度～1996年度)

項目No.	実施内容	実施時期 (評価)
①	各ワークショップ分担のニーズ調査ではラウニオン(R1)・ダバオ(R11)の訓練施設を実施	10月、11月
②	バタンガス(R4)・イロイロ(R6) MIRDC(工業試験場)	11月
③	OMSD(中央センター)・カビテ地方センター(RMPMTC) カビテ・カレッジ(アート、トレード)・バタンガス(R4) ダバオ(R11)・サンボアング(R9)・ギギント(R3)・セブ(R7) ・ラウニオン(R7)・マルベレス(R3)	8月・9月・10月
1	機械部品加工会社、冷凍空調会社他2社見学	10月
2	サラオジーブニー工場、YKKフィリピン、サンミゲール 金型工場	11月
3	フィリピン共立(PKI)、フィリピン長野精工、 ニッサン訓練センター	9月、10月
4、5	次の技術移転 *訓練管理・*施設訓練管理・*調査方法 *リーダーシップスキル *コンピューターリテラシープログラム *PEVOFIパンフレットの作成法	1944年度～1955年度

訓練分野活動実績 (1994年度～1996年度)

項目No.	実施内容	実施時期 (評価)
④	*日本の職業訓練システム、*訓練ニーズ、*訓練計画 *教材活用、*訓練評価	1995年4月
⑤ ⑧	*生産管理シュミレーションセミナーの実施 PEVOTI会場(2d-12h-12p) イロイロ会場(2d-12h-12p) *効果的な仕事の進め方 *P-D-C-Aサイクルの習慣化 *改善方法	1995年11月
⑥ ⑨	*ハイテク時代の技術移転セミナーの実施 PEVOTI会場(2d-12h-25p) セブ会場(2d-12h-30p) *TMCとは何か *技能の科学と指導について *ハイテク技能とは *訓練現場の改善について	1996年9月～10月
カウンタ ーパート 日本研修	*R・ABRAHAM (1995年8月～10月) *W・BATHAN (1996年6月～8月)	
⑦ 7	*訓練管理セミナー(4d-24h-10p) *訓練管理・安全管理 *訓練生管理	3月

**1997 WORKPLAN
TRAINING MANAGEMENT WORKSHOP**

ACTIVITIES	MONTH																								BUDGET				
	JAN		FEB		MAR		APR		MAY		JUN		JUL		AUG		SEP		OCT		NOV		DEC						
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4		1	2	3	4
1. Counterpart foreign training																													
2. Development of Training Programs for : A. Application of Training Management B. Seminars																													
3. Curriculum & Training Mat'ls. Dev't. a. Tmg. Mgt. Guidebook b. Seminar Manuals																													58,780
4. Implementation I. Application of Tmg. Mgt.																													108,120
II. Conduct Training Seminars on :																													
A. Simulation																													
B. Director or Managers' training																													480,000
C. Leadership Training																													
5. Improvement and Maintenance of TM Workshop																													
6. Evaluation																													
7. Promotion																													

TOTAL :

P 646,840

3. カリキュラム及び教材開発分野の活動実績と今後の計画

1994年度実績

I. 1994年度の主な活動と実績(1994.5~1995.3)

1. 1994年度の業務計画の作成

プロジェクト5カ年計画に基づき、カリキュラム&教材開発(以後、CTMとする。)業務計画の骨子を作成する。

(CTMにおける技術移転の三本柱 説明資料-1)

1.1 カリキュラム&教材開発の訓練コースを開発・実施する。

カリキュラム&教材開発訓練コースを実施して地方の指導員にカリキュラム&教材作成の方法を指導する。

目 的

- 1) 訓練コース開発を通じてCTMのカウンターパートにカリキュラム&教材開発の技術移転する。
- 2) 訓練コース開発を通じてCTMカウンターパートにTMCを理解させる。
- 3) CTMのカウンターパートに訓練の経験を体験させる。
- 4) CTMのカウンターパートに自作教材の作成方法を体験させる。
- 5) セクションのカウンターパートと地方の指導員にカリキュラムと教材開発の概念を技術移転する。

1.2 職業訓練教材作成する手順を技術移転する。

教材作成マニュアルを作成して具体的な教材作成を實踐して、教材作成システムを開発する。(日本の認定教材開発システムを技術移転する。)

目 的

- 1) 教材作成マニュアルを作成して、教材作成に必要な業務を理解させる。
- 2) 教材開発委員会の運営方法を理解させる。
- 3) 教材レイアウト方法と編集方法を及び原稿校正方法を理解させる
- 4) 教材の印刷・製本の発注方法を指導する。
- 5) 自前で教材を作成する技能を技術移転する。

1.3 教材作成支援システムを作成する。

既存する希少の教材を有効に活用するために教材を提供する情報システムを開発する。また、教材作成及び指導技法に必要な作業工程をビデオシステムを使用する作業分析の方法を技術移転する。

目 的

- 1) 光ファイリングシステム使用して教材作成に必要な参考資料を提供するシステムを開発する。
- 2) カリキュラムと教材を有効に結びつける手法を技術移転させる。
- 3) ビデオシステムを使用してイラストの作成手法を技術移転する。
- 4) ビデオによる作業分析の手法を技術移転する。

2. フィリピン職業訓練実体調査の計画立案と実施

2.1 フィリピン職業訓練実体の把握

フィリピンの職業訓練を把握するために地方職業訓練センターの実態調査を実施する。

2.2 カリキュラム&教材開発室の活用コンセプトとレイアウト作成

効果的なカリキュラム&教材開発業務を推進するカリキュラム&教材開発業務(実習場)室のレイアウトと機器配置図を作成する。

3. 技術移転の教材作成

3.1 日本の職業訓練方法を指導する教材の作成とセミナーを実施する。

3.2 効果的な技術移転を実施するために日本語指導教材の作成する。

3.3 プレゼンテーション能力を向上させるOHP活用指導の教材を作成する。

3.4 作業分析方法を指導する教材を作成する。

4. 特記事項

1994年4月から1995年1月まで、CTMのカウンターパートは1名であった。1995年2月に2名のカウンターパートが配置されR/D通り3名体制になった。

(計画打ち合わせ調査団より強く要望の結果)

この年度のカリキュラム&教材開発に関わる技術移転の基礎を作った

1995年度実績

Ⅱ. 1995年度の主な活動と実績(1994.4～1996.3)

1. 教材開発運営マニュアルの作成(詳細は教材開発運営マニュアル参照)
教材開発の業務を把握するために教材開発運営マニュアルを作成した
 - 1)教材開発業務の流れと業務説明及び必要書類
 - 2)原稿料支払いと謝金算定基準
 - 3)原稿校正資料
 - 4)教材開発委員会運営

2. 自動車整備訓練教材の開発(作成済み見本参照 :教科書・TP・掛け図)
教材開発業務マニュアルに従い、指導者整備訓練教材を開発する。
 - 1)カリキュラムと訓練コース開発方法の技術移転
 - 2)原稿編集とレイアウト方法の技術移転
 - 3)印刷・製本発注方法の技術移転
 - 4)教材開発委員会運営方法の指導して教材開発委員会を4回開催し
 - 5)事前点検訓練コース開発と訓練教材を開発した。

3. カリキュラム開発の技術移転
カリキュラム開発における技法の教材作成と当教材を用いて技術移転する。
 - 1)カリキュラム開発基本概念手法
 - 2)訓練ニーズと訓練コース開発手法
 - 3)訓練コース開発と教材作成手法

4. カリキュラム&教材開発の訓練コース開発と教材の作成
訓練コースの教材内容
 - 1)カリキュラム&教材開発のプロセス
 - 2)職務分析とカリキュラム開発
 - 3)訓練ニーズと訓練コース開発
 - 4)作業分析と作業工程
 - 5)作業工程とイラスト作成演習
 - 6)職務分析手法と演習
 - 7)指導員教材と受講者教材
 - 8)校正記号と校正演習

5. カリキュラム&教材開発に関連するセミナーの実施

1)日本語セミナーを20時間実施

効果率な技術移転とカウンターパートの日本研修をより効果的に推進するために日本語研修を実施する。

2)OHP訓練セミナーの実施

指導方法(プレゼンテーション技法)の技術移転の一環として効果的OHP機器の取り扱いとTP作成方法の研修を実施する。

3)作業分析方法の技術指導研修の実施

製本作業を通じて作業分析方法と教材作成方法の技術移転を図った。

4)DACAMセミナーの実施

DACAM(カリキュラム開発手法)を通してカリキュラム開発の基本的な概念を学習させる。

6. 特記事項

1994年度に作成したカリキュラム&教材開発業務計画骨子に従い教材開発業務マニュアルの検証と訓練コース教材(自動車訓練教材)を作成した

カリキュラム&教材開発訓練コース開発の準備と試行訓練を実施した。

1996年度実績

Ⅲ. 1996年度の主な活動と実績(1995.4~1996.12)

1. 機械分野訓練教材の開発

指導員訓練コースの教材を開発する。現在原稿作成とレイアウト作業が終わり、印刷会社と契約中である。

当教材の特徴は、作業工程を重視して指導員に機械旋盤の2級(日本の技能検定)程度の技能を習得する内容となっている。

- 1)機械分野における課題訓練教材の作成方法を技術移転した。
- 2)作業行程と訓練課題の作成方法を技術移転した。

1.1 機械分野の教材開発委員会を設置と運営

機械分野の指導員と民間企業の専門家による教材開発委員会を二回開催して、機械分野の教材原稿を作成した。

委員会名：機械分野教材開発委員会

開催日：第一回教材開発委員会(詳細は報告書参照)

(1996年8月 5日~1996年8月 9日)

第二回教材開発委員会(詳細は報告書参照)

(1996年8月26日~1996年8月30日)

作成教材：指導員マニュアル 原稿枚数 250ページ

受講者教材マニュアル 原稿枚数 540ページ

掛け図原稿(TP) 原稿枚数 65枚

1.2 プロジェクト機械系分野との協力体制

プロジェクト内機械分野との協力方法について機械分野専門家及び両カウンターパートとの話し合いを進めてきたが、業務計画の日程の調整がつかずカリキュラム&教材開発分野単独で教材を作成することにした。

カリキュラム&教材開発分野と機械分野との話し合いの内容は議事録としてまとめてある。(議事録参照)

視察の件

1.3 印刷原稿の契約手続き

現在、原稿枚数が多いためと、作業工程表を取り入れたためにトレース図が多くなり予算内で契約が難しくなっているためにページ数及び印刷冊数を調整中である。

2. カリキュラム&教材開発訓練コースの実施

1995年度に試行訓練の評価を踏まえて今年度4回のレギュラー訓練を実施した。試行訓練評価で、訓練計画通りの訓練ができない事と受講者の訓練受講時の態度が散漫で欠席時間が多い点を考慮してレギュラー訓練を実施する。

初期の訓練が3名のカウンターパートで分担して実施したが、1名のカウンターパートでも実施できるように担当内容をローテーションさせて実施した。当訓練でカウンターパートに指導員の経験を積ませる事ができた。

2.1 カリキュラム&教材開発訓練コースの概況

訓練コース名：カリキュラム&教材開発訓練コース

訓練時間：40時間(5日間)

訓練目標：1) 職務分析によるカリキュラム開発方法を理解する。
2) 訓練ニーズと訓練コースカリキュラム開発方法を理解する。
3) 訓練コースカリキュラムに準じた教材方法を理解する。
4) 教材の原稿作成とイラスト作成ができる。
*1) C T Mカウンターパートに指導員の経験を積ませる。
*2) C T Mカウンターパートにより、カリキュラム&教材開発方法を理解させる。

指導者：C T Mカウンターパート(3名)

訓練内容：1) 職務分析によるカリキュラム開発方法と演習
2) 訓練コース開発方法と演習
3) 作業分析による教材作成と演習
4) イラスト作成方法と演習

2.2 試行訓練コース(詳細は報告書参照)

対象：プロジェクトカウンターパート(14名/10名)

機械分野 2名

金属加工分野 3名

制御分野 2名(1名欠席)

訓練管理分野 3名

訓練時間：40時間

訓練場所：プロジェクトビル(C T M実習場)

実施日：1996年 3月11日～1996年 3月15日

2.3 第一回訓練コース(詳細は報告書参照)

対 象 : N I T V E T スタッフ(8名)

Curriculum Development Division	2名
Trainers Qualification Division	3名
Training division	1名
Training research Division	2名

訓練時間 : 30時間

訓練場所 : プロジェクトビル(CTM実習場)

実施日 : 1996年 4月29日~1996年 5月3日

2.4 第二回訓練コース(詳細は報告書参照)

対 象 : 地方職業訓練センター(15名)

Region IX	指導員	4名
Region X	指導員	2名
Region XI	指導員	3名
Region XII	指導員	4名
Region XIII CARAGA	指導員	2名

訓練時間 : 40時間

訓練場所 : ダバオ教育訓練センター

実施日 : 1996年 7月29日~1996年 8月2日

2.5 第三回訓練コース(詳細は報告書参照)

対 象 : 地方職業訓練センター(15名)

Region IV	指導員	3名
Region V	指導員	3名
Region VI	指導員	3名
Region VII	指導員	3名
Region VIII	指導員	3名

訓練時間 : 40時間

訓練場所 : プロジェクトビル(CTM実習場)

実施日 : 1996年 9月9日~1996年 9月13日

2.6 第四回訓練コース(報告書参照)

対 象 : 地方職業訓練センター(15名)

Region I	指導員	3名
Region II	指導員	3名
Region III	指導員	3名
CAR	指導員	3名
NCR	指導員	3名

*1 CAR(Cordillera Autonomous Region)

*2 NCR(National Capital Region)

訓練時間 : 40時間

訓練場所 : プロジェクトビル(CTM実習場)

実施日 : 1996年 9月23日~1996年 9月27日

3. カリキュラム開発の実施

カリキュラム開発の手法をカウンターパートに技術移転するために自動車分野のタスクシートを524ページカリキュラム開発委員会で作成した。現在このタスクシートを活用するためにデータ化を進めている。

3.1 カリキュラム開発委員会の実施

委員会名：自動車整備カリキュラム開発委員会

開催日：第一回カリキュラム開発委員会(詳細は報告書参照)

(1996年9月 6日～1996年9月 6日)

作成タスク：タスクシート 524枚

タスク分野：ガスエンジン

3.2 タスクシートと光ファイリングデータの活用

現在、光ファイリング教材データとタスクシートを組み合わせにより、効率的に訓練コースカリキュラム開発と教材を作成する為に必要な参考資料データベース化を進めている。

4. 開発教材の評価

4.1 調査方法

自動車整備訓練教材を活用する訓練コースを開設して、訓練教材の活用状況から訓練教材の問題点を把握した。

訓練指導者と受講者に教材に関する教材調査表を配布して、訓練実施後に該当教材に関する問題点を把握する。当教材の活用と訓練実施について指導員とオリエンテーションを開催して訓練実施の方法と教材活用方法について説明した。

4.2 訓練実施場所と調査場所

訓練実施をTESDA Training Centerの三ヶ所に訓練実施を依頼した訓練の実施センターを大型、中型、小型規模に分類して下記センターに依頼した。

1)TESDA Training Center Regional II (Tuguegarao)小規模センター

2)TESDA Training Center Regional VI (Talisay) 中規模センター

3)TESDA Training Division NITVET 大規模センター

4.3 訓練実施と調査

訓練の実施は下記の通りである。

1)Training Center Regional II (Tuguegarao)

訓練実施 10月14日～10月25日の2週間

2)Training Center Regional VI (Talisay)

訓練実施 10月28日～11月 8日の2週間

3)TESDA Training Division NITVET

訓練実施 12月 2日～12月13日の2週間

平成9年度 年間業務計画 (カリキュラム&教材開発分野)

Contents of Operation	April				May				June				July				August				September				October				November				December				January				February				March							
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4				
1. 教材開発 (電気・電子分野) 1)教材ニーズ調査 2)教材開発委員会 3)教材編集・印刷																																																				
2. 教材評価 (機械分野訓練コース) 1)教材評価調査																																																				
3. カリキュラム開発 (自動車分野) 1)カリキュラム編集 2)印刷・製本 (機械分野) 1)開発委員会 2)カリキュラム編集 3)印刷・製本																																																				
4. スライド作成作業																																																				
5. 作業分析(VTR)																																																				
6. マリカデータ入力																																																				
7. 掛図作成作業 1)タイトルファイル作成 2)掛図作成																																																				
8. 印刷・製本作業																																																				
9. スライド作成作業																																																				
10. 訓練コースの実施																																																				
11. 新訓練コース開発 ・トライアル訓練実施 ・レギュラー訓練実施																																																				

機械加工分野 年間活動実績

(1994年4月1日～1995年3月31日 平成6年度)

FD No. 7

計画 \equiv / 実行 \dashv

	Apr. 94	May. 94	Jun. 94	Jul. 94	Aug. 94	Sep. 94	Oct. 94	Nov. 94	Dec. 94	Jan. 95	Feb. 95	Mar. 95	備 考 欄
1. C/P研修													Mr. P. ARRIOLA M/Cプログラム 3/21～6/13
2. 長期専門家													5月26日 着任：野澤征夫
3. 短期専門家													
頭 ク ラ イ ド 保 守	4. 1) 訓練ニーズ調査												5 訓練施設、9 企業を実施した マニュアル作成
	2) 訓練プログラム開発												
	3) カリキュラム・教材準備												
	4) トライル訓練実施												
	5) 評価												
機 械 測 定	5. 1) 訓練ニーズ調査												5 訓練施設、9 企業を実施した
	2) 訓練プログラム開発												
	3) カリキュラム・教材準備												
	4) トライル訓練実施												
	5) 評価												
M / C プ ロ グ ラ ム 応 用	6. 1) 訓練ニーズ調査												5 訓練施設、9 企業を実施した
	2) 訓練プログラム開発												
	3) カリキュラム・教材準備												
	4) トライル訓練実施												
	5) 評価												

機械加工分野 年間活動実績

計画 \equiv / 実行 \equiv (1995年4月1日～1996年3月31日 平成7年度)

	Apr. 95	May. 95	Jun. 95	Jul. 95	Aug. 95	Sep. 95	Oct. 95	Nov. 95	Dec. 95	Jan. 96	Feb. 96	Mar. 96	備 考 欄
1. C/P研修	Mr. AKIOLA												Mr. E. CASCO M/C7°プログラム操作演習 9/14～11/25
2. 長期専門家													野澤征夫
3. 短期専門家							—CNC—						3/30～4/27 富田：機械測定 2/19～3/6 富田：CNC熱付
4. 1) 訓練ニーズ調査													
5) 評価	2) 訓練プログラム開発												
	3) カリキュラム・教材準備												トライアル訓練第2回目以降の副教材等の作成および改善
	4) トライアル訓練実施					—Re. III—			—OMSD—				9/5:(6名) 12/8:(5名) コース受講者累計11名
	5) 評価												
	5. 2) 訓練プログラム開発												短期専門家による技術移転が コース開発に反映している
5) 評価	3) カリキュラム・教材準備												短期専門家が技術移転に使用した 教材等を利用している
	4) トライアル訓練実施					—Re. III—			—OMSD—				9/4:(6名) 12/7:(5名) コース受講者累計11名
	5) 評価												
	6. 1) 訓練ニーズ調査												'94.8月～同12月 5訓練施設、9企業を実施した
	5) 評価	2) 訓練プログラム開発											
3) カリキュラム・教材準備													教材、副教材の開発及び改善
4) トライアル訓練実施										機械研習 据え付け			9月：7°ラミナ 12月：切削加工演習(機材未着)
5) 評価													

機械加工分野 年間活動実績

計画 == / 実行 ==

(1996年4月1日～1997年3月31日 平成8年度)

	Apr. 96	May. 96	Jun. 96	Jul. 96	Aug. 96	Sep. 96	Oct. 96	Nov. 96	Dce. 96	Jan. 97	Feb. 97	Mar. 97	備 考 欄
1. C/P研修													
2. 長期専門家													5月28日 齋任 野澤篤彦
3. 短期専門家													9～10月:マシンセンター研修 9月:CNC旋盤据付(機材未着)
4. 両面グラインダー保守 トライル訓練													7/25(7名) 8/30(9名) 予入受講者累計27名
5. 機械測定トライル訓練													7/24(7名) 8/29(9名) 予入受講者累計27名
M/Cプログラムを用	6. 1) 訓練ニーズ調査												
	2) 訓練プログラム開発												
	3) 加キラム・教材準備												
	4) トライル訓練実施												教材、副教材の開発及び改善
	5) 評価												7/22～8/2(4名) 9/16～9/27(5名) 11/11～11/22(3名) 累計12名

機械加工分野 年間活動計画

計画 — / 実行 —

(1997年1月1日～1997年12月31日 1997年フィリピン会計年度)

	Jan. 97	Feb. 97	Mar. 97	Apr. 97	May. 97	Jun. 97	Jul. 97	Aug. 97	Sep. 97	Oct. 97	Nov. 97	Dec. 97	備考欄
1. C/P研修													
2. 長期専門家													久米篤憲
3. 短期専門家													9～10月:マニラ・センター・カスラム・マクロ
4. 両頭グラインダー保守 地方訓練施設への委託訓練													過去4回のトライアルを終え、各 訓練施設でコース運営を試みる
5. 訓練ニーズの把握	1) 国のニーズ												7. 2000計画の把握、人材開発 中期計画等の把握と整理 経済特別区等の「工業開発計画」 等の状況と職業訓練の関係等 企業から訓練施設への要求は何か どの様に訓練に反映させるか 資格取得機会と職業訓練コース開 発の可能性を探る 96.7月より訓練施設実態調査継続 TMCによる現状改善
	2) 地域のニーズ												
	3) 企業のニーズ												
	4) 個人のニーズ												
	5) 訓練施設のニーズ (問題把握・改善)												
6. 訓練プログラム	1) 旋盤コース												
	2) フライス盤コース												
	3) CNC旋盤												
	4) MCコースの改善												
	5) TMCコース												
7. カリキュラム開発	1) 旋盤コース												
	2) フライス盤コース												
	3) CNC旋盤												
	4) MCコースの改善												
	5) TMCコース												
5. 訓練ニーズの把握とは 1) 調査法の検討・実施・整理 2) ニーズの決定と訓練へのフィードバック方法 3) C/Pとの学習と問題提起 4) ニーズとは何か? 整理 5) 機械加工全般のニーズ把握として位置づけ て実施し、将来のコース(ワーカー等)開発 にも利用可能とする			6. 訓練プログラムとは以下の条件検討し決定し作成する活動 1) 訓練対象者 2) 訓練目標の設定 3) 養成人員 4) 訓練内容と水準 5) 訓練方法(講義、演習、実習、討議、プレゼンテーション) 6) 場所 7) 必要機材リスト 8) 必要経費 9) 担当者 *4)及び5)はCUBBUS(能力資質の構造図作成により実施する)						7. カリキュラム開発とは 1) 期間訓練計画票の作成 2) 訓練教材(テキスト、マニュアルの作成) 3) 訓練指導案の作成 4) リハーサルの実施と改善(補助教材の作成等)				

機械加工分野 年間活動計画

計画 — / 実行 — (1997年1月1日～1997年12月31日 1997年フィリピン会計年度)

	Jan. 97	Feb. 97	Mar. 97	Apr. 97	May. 97	Jun. 97	Jul. 97	Aug. 97	Sep. 97	Oct. 97	Nov. 97	Dec. 97	備考欄
8. 試行訓練の実施	1) 旋盤コース				—								
	2) フライス盤コース					—							
	3) CNC旋盤						—						
	4) MCコースの改善							—					
	5) TMCコース								—				
9. 試行訓練の評価	1) 旋盤コース												
	2) フライス盤コース												
	3) CNC旋盤												
	4) MCコースの改善												
	5) TMCコース												
<p>8. 試行訓練コース設定の背景</p> <p>1) 現在各地方訓練施設で実施されている汎用工作機械基礎訓練の改善を主な目的として、訓練指導案の有効性、必要性を明らかにしTMCを用いた各訓練施設</p> <p>2) の現状改善への問題提起とする</p> <p>3) 汎用工作機械との違いを明確にし、フィリピンにおける新しい訓練コース開発を目的とする。①生産形態：多品種少量生産と少品種大量生産の違いは生産工程の違いである。②技能形態：カン・コツを必要とする運動感覚系技能とプログラム作成など知識や情報など判断能力や記憶機能に依存する知的管理系技能とでは指導法が異なる等</p> <p>4) ①～④の試行訓練実施経験を下にコース開発に係る作業の整理や結果を講習会的に開催し、用意した課題(例>マイクロメーターによる測定)を演習及びプレゼンテーションとして参加者に発表させ評価しTMCの理解を促進する。</p> <p>* プロジェクト事前調査用(森嶋ミッション)時に設定された試行訓練受講者目標を達成するためには上記の計画実行が必要となる。</p>							<p>9. 評価の考え方</p> <p>1) CP評価：①専門技術に関する能力 = { a) 作業が出来る b) 原理・原則を理解している c) 応用・展開が出来る</p> <p>②指導技術に関する能力 = { a) ニーズ把握が出来る b) 訓練プログラム開発が出来る c) カリキュラム及び教材作成が出来る d) 訓練を実施できる(指導案が書ける) e) 実施した訓練の評価が出来る</p> <p>③指導員としての態度 = { a) 安全を重要視している b) 人格の尊重(丁寧な指導、配慮等) c) 知的な好奇心を向上させる</p> <p>2) 技術移転の成果：上記の評価を下に専門家としての評価を行い改善する</p> <p>3) 試行訓練実施に係る評価：a) 訓練直後における訓練受講者からのアンケート b) 訓練終了後一定期間後の受入れ・定着・普及の調査 (例>受講者はどの様に変化したか?)</p>						

金属加工 分野 活動履歴 (1994年度)

(1994年5月～1995年3月)

No. _____

			PEVOTI PROJECT (職業訓練向上計画)												技術協力 GANT CHART																																				
Contents of Operation	Month		April				May				June				July				August				September				October				November				December				January				February				March				
	TMC	Activities	Weeks	計画・実行	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4			
					5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51
	訓練施設調査		計画 PLAN 実行 ACTUAL																																																
	NMYCの機能との比較		計画 PLAN 実行 ACTUAL																																																
	訓練企画 (企業訪問) (研究機関訪問) (教育機関訪問)		計画 PLAN 実行 ACTUAL																																																
	情報交換の場		計画 PLAN 実行 ACTUAL																																																
	訓練教材作成・カリキュラム		計画 PLAN 実行 ACTUAL																																																
	訓練実施		計画 PLAN																																																

サンボアンガ
ピコール調査

フォーマットの比較収集

こちらの企業団体との接触をはかる

MLAP

企業との連絡協議会の準備

企業訪問

企業との
連絡協議会

ここでの訓練コースの設定過程は産業界の訓練ニーズを体系化するにより、これらの情報はガイダンスの業務にもかなり役立つと思われる。

訓練コースの設定が重要であるので、特に各アイデアを出して情報収集の方法を考える。この分野では、代表的な手法を用いて教材作成を行う。

訓練のoutputでは
*訓練内容(手法・教材)
*テキスト

コース 設定
1: コース設定から実施まで
2: トライアルコース
3: トライアルコース
4: コースの実施から評価
5: 今後訓練のあり方について

NENDI, JBW

5. 金属加工分野の指導員訓練活動実績と今後の計画

技術移転	実行ACTUAL	今後の動向を考慮して、先進的な手法につながるように配慮する。		実際のには、試行訓練は実施されなかった。	この訓練実施に際しては、詳細な行動記憶を必要とする。 また、3人から5人程度の企業からの聴講生(2、3日のみ)を考える。
	計画PLAN	指導員にとって訓練コースの開発の基礎のは、十分な技術力を必要とする。特に今後の技術動向を考慮して、すべてにおいてデジタル的な発想で作業を行う。			
長期専門家：金属加工	計画PLAN			基本的なCADの機能の技術移転	
日本研修	実行ACTUAL	小渡 邦昭	94.5.26	96.5.25	
	計画PLAN 実行ACTUAL				プレス加工 小山短大にて (シュン・ベルダ) 3/21・6/13

金属加工

分野 活動実績 (1995年度)

(1995年4月～1996年3月)

NO. _____

			PEVOTI PROJECT (職業訓練向上計画)												技術協力 GANT CHART																																											
Month			April				May				June				July				August				September				October				November				December				January				February				March											
Contents of Operation			1 2 3 4				1 2 3 4				1 2 3 4				1 2 3 4				1 2 3 4				1 2 3 4				1 2 3 4				1 2 3 4				1 2 3 4				1 2 3 4																			
TMC	Activities	Weeks	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52																																																							
	訓練施設調査	計画 PLAN 実行 ACTUAL																																																								
	NMYCの機能との比較 (TMCマニュアル作成)	計画 PLAN 実行 ACTUAL																																																								
	訓練企画 (企業訪問) (研究機関訪問) (教育機関訪問)	計画 PLAN 実行 ACTUAL	具体的な訓練企画・実施要綱について整理する。この時、CE (コンカレントエンジニアリングの考え方 (先を見通した思考)) を取り入れる。												短期専門家と共に												技術体系や現実的な訓練コース企画のために1ヶ月に2カ所程度の企業見学及びデータ																															
	情報交換の場	計画 PLAN 実行 ACTUAL	積極的にアドバイザー制度 (専門分野の情報交換手段) などの産業界とのリンクを行うことにより的確な訓練が可能にする。												ここでの訓練コースの設定過程は産業界の訓練ニーズを体系から、一歩進んだ職業訓練の体系図を作ることで、より利用価値のありものにカスタマイズする												企業見学に対して情報収集																															
	訓練教材作成・カリキュラム	計画 PLAN 実行 ACTUAL	特に、CAIを意識したデジタル的な考え方で教材作成を試行する。この分野では、モデル作成・シミュレーションを積極的に行う。												技術移転の出来た範囲で訓練カリキュラム等の作成												(実質のコースは1週間程度) この訓練実施に際しては、詳細な行動記憶を必要とする。また、別に企業向けのコースの設定を考える。																															
	訓練実施	計画 PLAN 実行 ACTUAL	これらの領域では、十分な今後の動向を考慮して、先進的な手法につながるよう配慮する。												訓練のoutputでは * 訓練内容 (手法・教材) * テキスト																																											
	板金CAD	計画 PLAN 実行 ACTUAL													CADの道具としての利用を明確するため「板金展開図」をターゲット												16-27 (評価表1)				6-19 (評価表2)																											
	評価	計画 PLAN 実行 ACTUAL																																																								
	技術移転	計画 PLAN 実行 ACTUAL	前年度にCADを利用して、設計工学 (物作りの流れ) を軸とする手法を考えたので今年度は、初期の金型の基礎であるプレス加工で金型設計の基本データを蓄積する。												(現地購入機材の技術移転)																																											

金属加工

分野 海産物計画 (1996年度)

(1996年4月~1997年3月)

NO. _____

			PEVOTI PROJECT (職業訓練向上計画)												技術協力 GANT CHART																																											
			April				May				June				July				August				September				October				November				December				January				February				March											
Contents of Operation			1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4								
TMC	Activities	Weeks	計画 PLAN / 実行 ACTUAL																																																							
	訓練施設調査		今年度は実施されない。											bataanへの企業調査 (短期専門家と共に)																																												
	NMYCの機能との比較 (TMCマニュアル作成)		指導員の業務											内容の確認											のみ実施																																	
	訓練企画 (企業訪問 (training plan)間)		各訓練実施の最終日に関連企業訪問																																																							
	(教育機関訪問)																																																									
	*訓練計画																																																									
	情報交換の場		情報の収集を行う。技術データ (各方面から)											基本せん断のみ																																												
	訓練教材作成・カリキュラム (making material and curriculum)		プレス加工											金型設計																																												
	*改良: CAD																																																									
	訓練実施 (implement) CAD		今年度は、金属加工をカバーするプレス加工及び金型設計の新規コースを作成																																																							
			15-26				27-6												15-27 (5)				17-30 (6)																																			
			(5)				(5)																																																			

NENDN3. JBW

金型設計 (DIE DESIGN)	計画 PLAN	MIRDC	エレクトロニクス		19-24 (3)	74シ-	OKABE	14-18 (5) STANDERD				
	実行ACTUAL											
プレス加工 (PRESS WORKING)	計画 PLAN	CADの訓練は、担当がC/Pの都合により変更された。					TMC・逐次技術移転					
	実行ACTUAL											
*評価も各訓練を含む												
技術移転 (TECHNOLOGY TRANSFER)	計画 PLAN	プレス機械			プレス機械							供与機材技術移転
	実行ACTUAL											
					金型+CAD+プレス加工の技術領域をカバーすることが可能になった。技術体系の作成へ							
長期専門家 (long term expert)	計画 PLAN											
	実行ACTUAL											
短期専門家 (short term expert)	計画 PLAN											3 / 14 交代
	実行ACTUAL											
C/Pの本邦研修 (training in JAPAN)	計画 PLAN								データベース (山田氏：北海道短大) 11/6 ・・・12/4			
	実行ACTUAL								ロベルト氏：島根短大：CAD関連 10/8 ・・・12/24			
供与機材	計画 PLAN											
	実行ACTUAL		現地購入									

注) 1：下線部分は実行に関するコメント
 2：試行訓練においては、実施期間・訓練人員・見学企業を記載

金属加工

分野 年間計画(1997年度)

(1997年4月～1998年3月)

NO. _____

			PEVOTI PROJECT (職業訓練向上計画)												技術協力 GANT CHART																																			
Month			April				May				June				July				August				September				October				November				December				January				February				March			
Contents of Operation	Activities	Weeks	1 2 3 4				1 2 3 4				1 2 3 4				1 2 3 4				1 2 3 4				1 2 3 4				1 2 3 4				1 2 3 4				1 2 3 4				1 2 3 4											
			TMC																																															
訓練施設調査			計画 PLAN 実行 ACTUAL							新専門家の訓練実状調査実施予定なし																																								
NMYCの機能との比較 (TMCマニュアル作成)			計画 PLAN 実行 ACTUAL			計画変更:																																												
訓練企画 (企業訪問) (研究機関訪問) (教育機関訪問)			計画 PLAN 実行 ACTUAL			いままでのまとめを行うことで、新たな訓練企画にかんする手法を確立して、実際の場合で利用すること行う。												(従来通り) 試行訓練終了後企業見学を実施)																																
情報交換の場			計画 PLAN 実行 ACTUAL			情報発信基地となりべき体制を内外ともに作り上げる。				ここでこの訓練コースの設定過程を通して、今まで、データカバーして、より実際面で利用できるデータを作り上げる。																																								
訓練教材作成・カリキュラム			計画 PLAN 実行 ACTUAL			いままでの集大成で、CAIを作り上げ準備を行う。この時、特にマルチメディアを考慮する。																																												
訓練実施 TMCの実施			計画 PLAN 実行 ACTUAL			この分野では、より深い訓練を意識して、プロセスプランニングの演習を含めたものを考える																																												
CAD			計画 PLAN 実行 ACTUAL			2回																																												
プレス加工1			計画 PLAN 実行 ACTUAL			3回																																												
プレス加工2			計画 PLAN 実行 ACTUAL			1回																																												
金型設計1			計画 PLAN 実行 ACTUAL			2回																																												
金型設計2			計画 PLAN 実行 ACTUAL			1回																																												
金型製作1			計画 PLAN 実行 ACTUAL			1回																																												
						今までの技術移転された作られたデータへ																																												

実際の訓練施設(地方から中央まで)での利用を考えた実際の形式での訓練を記憶を必要とする。また、別に企業向けのコースの設定を考える。

NENDAN. JBW

技術移転 長期専門家 本邦研修	計画 PLAN 実行ACTUAL	一スをもとに、金型製作の分野を構築することを主眼において行う。												
	計画 PLAN 実行ACTUAL													
	計画 PLAN 実行ACTUAL	4/7	職業能力開発 大学校	(生産機械工 学)						12/21				

Metal Processing Workshop 1997 WorkPlan

Activities/Target	Jan	Feb	Mar	Apr	May	June	July	Aug	Sept	Oct	Nov	Dec	Est'd Budget
1. Counterpart Training in Japan				C. Antonio- Product Engineering - April - December									113,500.00
2. Technology Transfer by Long Term Expert (TMC)- Pressworking - Die Design - Die Making	(All Staff)												
3. Research on Needs	(All Staff)												45,000.00(02) 15,000.00(07)
4. Program Development													
a. Pressworking (Bending/Drawing)													
b. Die Design (Progressive Die)													
c. Die Making (Single/Compound Die)													
5. Curriculum and Training Materials Development													
a. Pressworking (Bending/Drawing)													
b. Die Design (Progressive Die)													
c. Die Making (Single/Compound die)													
6. Training Trial													
a. CAD													
b. Pressworking (Shearing/Blanking (Bending/Drawing)													
c. Die Design (Single/Compound Die) (Progressive Die)													

Metal Processing Workshop 1997 WorkPlan

Activities/Target	Jan	Feb	Mar	Apr	May	June	July	Aug	Sept	Oct	Nov	Dec	Est'd Budget
d. Die Making (single/Compound Die)													
7. Curriculum and Training Materials Revision													
a. Pressworking (Shearing/blanking) (Bending/Drawing)													
b. Die Design (single Compound Die) (Progressive Die)													
c. Die Making (single/compound die)													
8. Evaluation/Documentation													
a. CAD													
b. Pressworking (Shearing/Blanking) (Bending/Drawing)													
c. Die Design (Single/Compound Die) (Progressive Die)													
d. Die Making (Single/Compound Die)													
9. Workshop Improvement/ Maintenance													45,000.00(07)
10. F M S													100,000.00(07)
11. Devolution of CAD													10,000.00(07)
12. Promotion													10,000.00(07) 2,000.00(29)

Grand Total 668,000.00

トレーニングトライアル訓練状況

制御分野 1996年度(平成8年度) 立壁保郎

	Traing Filed: Control	1994		1995		1996		1997		1998		1999	
		計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
1	訓練コース数	1	0	3	1	3	2	4		4		2	
2	訓練コース回数	1	0	2	3	2	2 or 3	2		2		2	
3	受講者総数	5	0	5	17	5	32	5		5		5	
4	受講者数×訓練コース数×訓練コース回数(人)	5	0	30	17	30	32	40		40		20	
5	小計	5	0	35	17	65	49						
6	到達度(実績の受講者÷計画の受講者%)		0%		57%		107%						
7	累計到達度		0%		49%		75%						
8	受講者数×訓練時間(人h)	280	0	1680	816	1680	1536						
9	到達度		0%		49%		91%						
10	累計到達度		0%		42%		65%						
1日の訓練時間7時間とした													
1回の訓練コースの日程数は8日間とした。													

制御分野 年間活動実績 (1994年4月1日~1995年3月31日 平成8年12月1日作成)

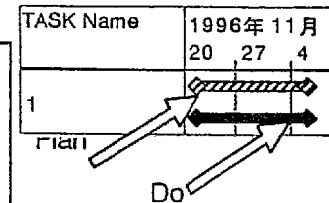
	実際の開始 日	実際の終了 日	1994年												1995年				
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
1.C/P研修																			
2.短期専門家																			
3.技術移転	94.5.25	95.3.31																	長期専門家(池田徹)
3.1パソコン制御																			
3.2メカトロニクス設計																			直動システムの設計書の作成と作図
3.3TMC																			
4.職業訓練トレーニングコース																			
4.1プレトリアル訓練	94.10.1	94.11.1																	
5.ニーズ調査	94.8.20	94.12.10																	
6.長期専門家(池田徹)	94.5.24	96.5.23																	派遣期間(1994年5月24日~1996年5月23日)

投入(Inputs)

<p>1. プレトリアル訓練の実施</p> <p>2. ベンチマーク調査の実施</p>

成果(Output)

<p>1. TMCコンセプトに基づいた訓練の実施により、C/Pの技術レベルの把握ができた。</p> <p>2. ベンチマーク調査により訓練ニーズの把握(企業訪問2社、アンケート調査9社)した。</p> <p>・シーケンス制御、空気圧制御、モータ制御、マイコン制御</p>



制御分野 年間活動実績 (1995年4月1日～1996年3月31日 平成8年12月1日作成)

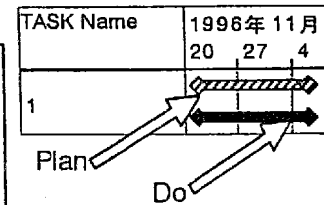
	実施の開始日	実施の終了日	1995年												1996年				
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
1.C/P研修(日本)	95.9.14	95.11.25																	Juls (岐阜能力開発短大)
2. 短期専門家(PLC制御)	95.7.25	95.8.22																	八田 (岐阜能力開発短期大学校)
3.技術移転	95.4.1	96.3.31																	長期専門家 (池田徹)
3.1シーケンス制御																			
3.2 16bitアセンブリ言語																			
3.3プリンターインターフェイス																			機械科の短期専門家技術移転に参加
3.4機械計測																			
3.5空気圧制御																			
4.職業訓練トレーニングコース																			
4.1パソコン制御(第1回目)	95.9.4	95.9.14																	
4.2パソコン制御(第2回目)	95.11.21	95.11.29																	
4.3パソコン制御(第3回目)	96.3.19	96.3.28																	
5.ニーズ調査	95.4.27	95.4.27																	Industry Consulting conferenceの開催
6.長期専門家(池田徹)	95.4.1	96.5.23																	派遣期間(1994年5月24日～1996年5月23日)

投入 (Input)

1. 短期専門家 (シーケンス制御)
2. C/P 研修 (シーケンス制御)
3. トライアル訓練
4. 機材 (マイコン制御関連, シーケンス制御関連)

成果 (Output)

1. 60 Hの技術移転の実施と英文テキストの作成
2. 短期専門家のもとへ研修に行く。
3. パソコン制御のトライアル訓練3回の実施, 訓練教材としてステッピングモータ制御回路の完成
4. 訓練教材として, 空圧制御ボードの完成



制御分野 年間活動実績 (1996年4月1日～1997年3月31日 平成8年12月1日作成)

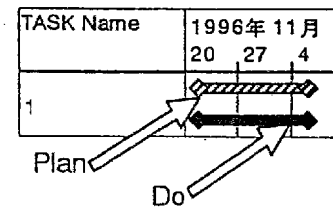
	開始予定日	最遅終了日	実際の開始日	実際の終了日	1996年			1997年									
					4月	5月	6月	7月	8月	9月		10月	11月	12月	1月	2月	3月
1.C/P研修 (メカトロニクスコース)	96.5.6	97.2.21	96.5.6	97.2.21													大阪東淀川職業能力開発校
2. 短期専門家	95.7.25	95.8.22	95.7.25	95.7.25													中止
3. 技術移転	95.4.1	97.3.31	95.4.1	96.12.1													長期専門家 (立壁保郎)
3.1 自動制御理論																	
3.2 シミュレーション技法																	
3.3 サーボ制御																	
3.4 プレゼンテーション技法																	
4. 職業訓練トレーニングコース																	
4.1 シーケンス制御 (第1回目)	96.2.1	96.6.1	96.4.16	96.4.25													
4.2 シーケンス制御 (第2回目)	96.7.1	96.11.1	96.6.18	96.6.27													
4.3 シーケンス制御 (第3回目)	96.7.1	96.11.1	96.10.8	96.10.17													
4.4 マイコン制御 (第1回目)	95.7.1	95.11.1	96.4.30	96.5.13													
4.5 マイコン制御 (第2回目)	96.2.1	96.6.1	96.11.4	96.11.13													
6. 長期専門家																	
5.1 池田徹	94.4.1	96.5.23	95.4.1	96.5.23													派遣期間 (1994年5月24日～1996年5月23日)
5.2 立壁保郎	96.5.17	98.5.16	96.5.17	98.5.16													派遣期間 (1994年5月17日～1996年5月16日)

投入 (Input)

1. C/P研修 (メカトロニクスコース)
 2. 3回に分けて機材が納入される。その第1回目の機材を用いてのトライアル訓練を実施予定

成果 (Output)

1. 研修中
 2. 3コース、合計5回のトライアル訓練の実施、特に各コース最後には指導法に力をいれ、プレゼンテーション技法を採り入れ技能向上を図た。



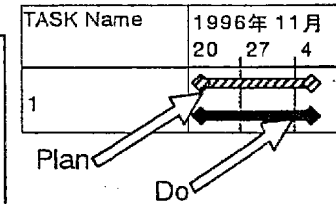
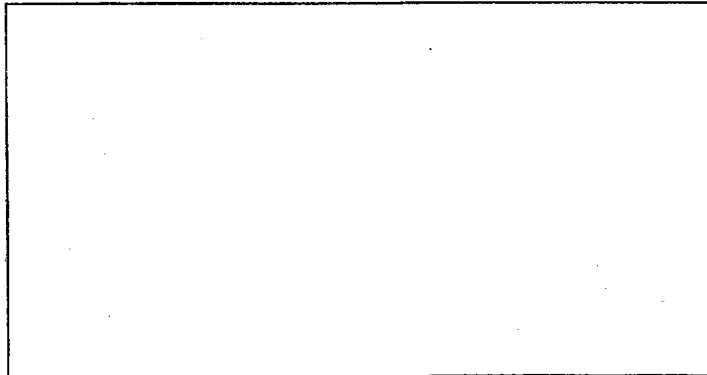
制御分野 年間活動実績 (1997年4月1日～1998年3月31日 平成8年12月1日作成)

	実際の開始日	実際の終了日	1997年												1998年				
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
1.C/P研修(日本)	97.8.18	97.8.18					◇												Bulgos(ハイテクロボットコース)
2.短期専門家(FA据え付け)	98.2.25	98.3.25															◇	◇	
3.技術移転	97.4.1	96.3.31																	長期専門家(立壁保郎)
3.1自動制御理論とモデリング																			
3.2ロボット工学																			
4.職業訓練トレーニングコース																			
4.1マイコン制御応用	97.6.15	97.6.15			◇														
4.2サーボ制御	97.11.15	97.11.15										◇							
4.3プロセス制御	97.11.1	97.11.1										◇							
4.4自動計測	97.10.1	97.10.1										◇							
4.5パワーエレクトロニクス(O MSD)	97.12.1	97.12.1															◇		
4.6シーケンス制御	97.7.1	97.7.1				◇													
5.ニーズ調査	97.4.1	97.4.1																	
6.地方訓練校への既存コースの移転	97.11.15	97.11.15															◇		
7.ロボット競技	97.6.1	97.6.1			◇														
8.長期専門家(立壁保郎)	96.4.1	97.4.1																派遣期間(1994年5月24日～1996年5月23日)	

投入(INPUT)

1. 訓練計画において、教材等の物品請求書および訓練計画書のデータベース化
2. 自動制御制御での教材開発
3. プレゼンテーション技法の改善とTMCを用いたロールプレイ実習
4. 評価表の改善として、技術分野に留まらずカウンターパートの活動実績評価表の作成
5. ロボット競技会の実施

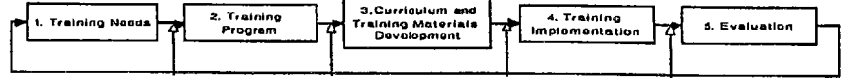
成果(OUTPUT)



Control Workshop Training Course

Training Management Cycle

Training Course Name : シーケンス制御と空圧制御 Total Participants 17



Duration	1.Training Needs	2.Training Programs	3.Curriculum & Training Materials Development	4.Training Implementation	5.Evaluation	Improvement Point	Participants	Achievement
1 Total time 48 H 96/4/16 ~ 96/4/25	ニーズ調査の結果より選定(資料10) 1. シーケンスの使い方 2. ラダー図を用いたシーケンス理論の習得	1. 訓練時間の決定8日 2. 対象者は地方の電気指導員を対象とした。 3. 短期専門家が使用教材を準備し、使用機器の一覧を作成した。 4. 技術レベルはシーケンス制御の基礎コース、 5. 訓練実績評価を計画した。	1. 短期専門家からの教材提供し教材作成した。 1.1シーケンス 1.2エレベータモデル 1.3 I/Oモニター 1.4 空気圧機器(リニアアクチュエータ等) 1.5 コンプレッサー 1.6 電磁弁	指導案に沿って下記の内容を実施した。 1. シーケンス制御の講義 2. シーケンスの使い方とその応用 3. 空気圧機器と空気圧回路の見方と関連実習 4. TMCの講義	1. 訓練実績評価として演習課題、最終テストを行った。	1. 使用機器の準備不足により1つの実習に時間がかかった。	6	17%
2 Total time 48 H 96/6/18 ~ 96/6/27	1-2 同上	1-5 同上	1. 同上 2. 使用教材のサンプルプログラムを準備した。	1-4 同上 5. サンプルプログラムの準備により1つの計画時間との差は少なくなった。	1 同上	1. 受講者の理解度にばらつきがある。また技術的理解度を明確にするため、プレゼンテーション技法の必要がある。	5	33%
3 Total time 48 H 96/10/8 ~ 96/10/18	3. 電気シーケンス図によるシーケンス制御の理解度を深める。 4. プレゼンテーション技法を用いて受講者の技能向上を図り、理解度を明確にする。	1-5 同上 6. プレゼンテーション実施計画1日間 7. 実習を基本実習と応用実習に分けた。 8. プリテストを計画した。	1-2 同上 3. プレゼンテーション用の発表用様式を作成した。また、OHPやOHP紙を準備した。	1-4 同上 5. 基本実習を全員に、応用実習をグループに1つ与え、プレゼンテーションを実施した。	1-3 同上 4. プレゼンテーションの評価を行った。	1. 参加者がプレゼンテーション時間を厳守できないため、リハーサルが必要である。また、発表の前にモデルプレゼンテーションが必要である。 2. 電気シーケンス図の理解を明確にする教材が必要である。	6	50%

< Problems & Attitudes >

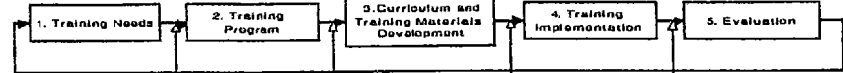
- このトライアル訓練は特に教材開発や準備に変化があった。しかし、参加者の多くは彼らの実習所にシーケンスを持っていないのが現状である。新しい教材を用いて実習することも大切であるが、リレーシーケンス制御の基礎実習も必要と考える。
- 参加者のほとんどが電気担当の指導員であるため、シーケンスの使い方は理解が早い。しかし、シーケンス図を見て制御システムを設計することはできない。今後この点を改善していく訓練が必要である。
- 第3回目では、プレゼンテーション技法を用いて参加者の技能向上を図った。しかし、10分という発表時間を厳守をする者はなく、OHPの書き方等も今後指導していく必要がある。

Control Workshop Training Course

Training Management Cycle

Training Course Name : マイコン制御

Total Participants 15



Duration	1.Training Needs	2.Training Programs	3.Curriculum & Training Materials Development	4.Training Implementation	5.Evaluation	Improvement Point	Partic ipants	Achieve ment
1 Total time 48 H 96/4/30 ~ 96/5/13	ニーズ調査の結果より選定(資料10) 1. マイコン制御の必要性 2. Z80マイコンおよびその周辺機器の使い方 3. Z80アセンブリ言語の習得	1. 訓練時間の決定8日 2. 対象者は地方の電子指導員を対象とした。 3. 長期専門家が使用教材を準備し、使用機器の一覧を作成した。 4. 技術レベルはマイコン制御の基礎コース 5. 訓練実績評価を計画した。	長期専門家が教材作成を行った 1. マイコン (KENTAC) 2. IBMコンピュータ 3. 交通信号モジュールおよびステップモータジュール。	指導案に沿って実施した。 1. TMCの講義 2. Z80の講義と実習 3. アセンブリ言語学習	1. 訓練実績評価として演習課題を行った。	1. 受講者の理解度にばらつきがある。また技術的理解度を明確にするためプレゼンテーション技法が必要である。 2. マイコンインターフェースの説明が不十分である。 3. TMCの講義だけでは理解が不十分であるので、演習を行う必要がある。	5	17%
2 Total time 48 H 96/11/4 ~ 96/11/16	1-3 同上 4. マイコンインターフェイス8255の制御法の習得 5. プレゼンテーション技法を用いて10名受講者の技能向上を図る。 6. TMCの理解を深める。	1-4 同上 5. プリテストおよびホストテストの準備 6. プレゼンテーション実施計画(2日間) 7. 実習を基本実習と応用実習に分けた。 8. プレインストーミング法を利用したTMC演習の準備。(0.5日)	1-3 同上 4. 8255の制御方法の教材作成 5. プレゼンテーション用の発表用様式を作成した。また、OHPやOHP紙を準備した。	1-3 同上 4. プレゼンテーションの実施 5. プレインストーミング法を用いてTMC演習を実施した。	1-2 同上 3. プレゼンテーションの評価を行った。 4. プリテストと最終テストとを比較した。	1. プレゼンテーションによる技能向上 2. 制御科におけるTMCの利用例とプレインストーミングによるTMCの模擬実習 3. 評価表の改善 4. 参加者10名の対応をした。	10	33%
3 Total time H ~								

< Problems & Attitudes >

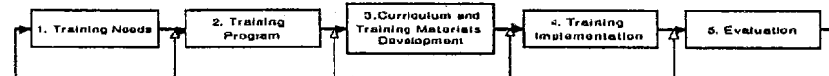
- このトライアル訓練は今年度最後の訓練ということもあり、TMCの効果が徐々に出てきたと考えられる。TMCの講義だけでなく、演習を試みることで受講者の仕事場の状況や問題がより明確になった。今後はTMCの考え方を現場に沿ったものに改善していきたい。
- ほとんどの訓練所はまだマイコン教材は持っていないが、マニラ周辺の訓練校ではこのコースに期待していることが実感できた。今後、我々はインターフェイスに関する教材の開発や制御対象の応用に重点を置いた訓練を開発する必要がある。
- 2回目のトライアル訓練ではプレゼンテーション技法を用いて10名の参加者の技能向上を図った。しかし、受講者の発表原稿の提出が遅れ予定したりハーサルが、プレゼンテーションの改善はみられなかった。

Control Workshop Training Course

Training Management Cycle

Training Course Name : パソコン制御システム

Total Participants 17



Duration	1.Training Needs	2.Training Programs	3.Curriculum & Training Materials Development	4.Training Implementation	5.Evaluation	Improvement Point	Participants	Achievement
1 Total time 48 H 95/9/4 ~ 95/9/14	ニーズ調査の結果より選定(資料10) 1. パソコン制御の必要性 2. ステッピングモータの制御法と回路作成 3. 16bitアセンブラ言語の習得と制御対象に応じたソフトウェアの開発	1. 訓練時間の決定8日 2. 対象者は地方の電子指導員を対象とした。 3. 長期専門家が使用教材を準備し、使用機器の一覧を作成した。 4. 技術レベルはパソコン制御の基礎コース 5. 訓練実績評価を計画した。	長期専門家が教材作成を行った 1.1 IBM/パソコン 1.2I/Oインターフェイスボード 1.3応用(ステッピングモータおよび7セグメントLED)	1. パソコン制御システムのおよびその周辺機器に関する講義 2. 応用実習としてステッピングモータの制御法と回路作成 3. TMCに関する講義	1. 訓練実績評価として演習課題を行った。	1. デジタル回路の基礎知識が不十分である。 2. ステッピングモータの制御回路制作に4日間の時間が費やされた。訓練目標第3項目が達成されなかった。	7	17%
2 Total time 48 H 95/11/21 ~ 95/11/29	1-3同上 4. デジタル回路の基礎知識の習得 5. パソコン制御のハードウェアに応じたソフトウェアの習得。	1-4 同上 4. デジタル回路の講義(1日) 5. ステッピングモータ制御プログラム演習(3日)	1. 同上 2. 長期専門家がステッピングモータの教材作成を行った。 3. デジタル回路のテキスト教材の作成	1-2同上 3. デジタル回路の講義 4. ステッピングモータ制御プログラム演習	1 同上	1. ステッピングモータ回路製作(4日)の代わりに、デジタル回路の講義およびステッピングモータ制御プログラム演習をおこない技術向上を図った。しかし、受講者が制御対象を理解するための知識が乏しかった。	5	33%
3 Total time 48 H 96/3/19 ~ 96/3/28	1-5同上	1-5同上	1-3同上	1-4同上	1 同上	1. 制御対象となるステッピングモータの原理、制御方法等の知識不足により、技術的な評価ができない。今後は制御対象に観点をおいた訓練が必要と考える。	5	50%

< Problems & Attitudes >

- 第1回のトライアル訓練は十分な機材がないまま実行した。特にステッピングモータ制御回路の製作に4日間も時間を費やしたため、本来目的とするパソコン制御でのプログラム学習が不十分となった。2回目以降は回路製作を取りやめ制御プログラム作成に主眼をおいた訓練を実施した。さらにデジタル回路の知識向上としてデジタル回路の講義もおこなった。
- 年度ごとの課せられた受講者ノルマがる。そのため3回目のトライアルは改善がみられない訓練になった傾向がある。
- この訓練は多種多様で新しい技術が必要になるため、つい新しい教材を紹介するだけの訓練になりがちである。しかし、最も汎用性が高く期待される訓練と考える。

5) 活動実績一覧表 (調整員氏名: 木村 伸一)

平成8年度 第3四半期現在

活動項目	予算年度	平成 6年度 (1994)				平成 7年度 (1995)				平成 8年度 (1996)				平成 9年度 (1997)				平成10年度 (1998)			
	月	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1
1. 訓練管理 1. 訓練コース実施					-----				-----				-----				-----				-----
2. 技術移転					-----				-----				-----				-----				-----
2. カリキュラム開発/教材開発 1. 訓練コース実施 自動車・機械					-----				-----				-----				-----				-----
2. 技術移転					-----				-----				-----				-----				-----
3. 機械 1. 訓練コース実施					-----				-----				-----				-----				-----
2. 技術移転					-----				-----				-----				-----				-----
4. 金属加工 1. 訓練コース実施					-----				-----				-----				-----				-----
2. 技術移転					-----				-----				-----				-----				-----
5. 制御 1. 訓練コース実施					-----				-----				-----				-----				-----
2. 技術移転					-----				-----				-----				-----				-----
6. その他					-----				-----				-----				-----				-----

(注1) 活動項目欄は、調査活動、訓練コース、セミナー等の内容別に分類の上、個々の具体的活動を適宜記入。
 (注2) 各年度の実績欄は、原則としてバーチャート方式により、可能なものは始点・終点の日付を付して記入(短期間の場合は点で可)。

6) 日本側/相手国側投入実績一覧表 (調整員氏名: 木村 伸一)

平成8年度 第3四半期現在

細目	予算年月	1994年(H. 6年)			1995年(H. 7年)			1996年(H. 8年)			1997年(H. 9年)			1998年(H. 10年)		
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
専門	長期	1. 指導員	5/26 — 谷口 勝雄 (チーフアドバイザー) — 3/14													
		2. 調整員	6/20 — 大杉 千恵子 (調整員) — 6/19													
		3. 訓練管理	5/26 — 西 澄雄 (訓練管理) — 5/25													
		4. 教材開発	5/26 — 八木 高行 (教材開発) — 5/25													
		5. 機械	5/26 — 野澤 征夫 (機械) — 5/25													
		6. 金属加工	5/26 — 小渡 邦明 (金属加工) — 5/16 — 久米 篤彦 (機械) — 5/15													
		7. 制御	5/26 — 池田 徹 (制御) — 5/25													
派遣	短期	1. 訓練管理	3/30—4/27			11/7—12/5			9/18—10/9						
		2. 教材開発	塩田			西川			森						
		3. 機械	3/30—4/27			2/19—3/6						
		4. 金属加工	安田			真田			11/6—12/4						
		5. 制御	8/22—9/20			八田			三浦			山田				
		6. 第三国	教材開発 (インドネシア)													
備与 材	当年度	供給	○39,273千円			○ 千円			○72,670千円(予定)			○ 千円				
		繰越	△27,194千円			△10,133千円 ケンケン、メカニカル、リフト			△21,302千円(予定)						
	携行機材	○ 19,046千円 パーソナルコンピュータ			○ 3,059千円			○ 千円			○ 千円					

(注1) 長期専門、短期専門とも氏名、指導科目、派遣期間(日付入バーチャート)を記入。
 (注2) 機材の欄には、本邦送分(○)と現地調達分(△)に分けて年度毎の合計金額及び主要品目名を記入。

6) -2 研修員受入れ、現地活動経費、相手国側投入実績、その他

平成8年度 第3四半期現在

細目	予算年月	1994年(H. 6年)												1995年(H. 7年)												1996年(H. 8年)												1997年(H. 9年)												1998年(H. 10年)											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3												
C/P 研修	1. 訓練管理	RICK --- 集団 8/21-10/15												BATHAN --- 集団 6/17-8/11												MENESES --- 個別																																			
	2. 教材開発	MUTUC --- 視聴覚 5/18-9/9												IGNACIO --- 個別 9/3-12/13												AGNES --- 個別																																			
	3. 機械	ARRIOLA --- 個別 3/21-6/13												CASCO --- 個別 9/14-11/25												TUMANGIL --- 個別 10/8-12/24												CERALES --- 集団																							
	4. 金属加工	BELDA --- 個別 3/21-6/13												JULES --- 個別 9/14-11/21												VIERNES --- 集団 5/6-2/21												BRUGOS --- 集団																							
	5. 削磨	FELLY --- 2/7-3-28												第三国 --- TUMANGIL 11/13-12/16																																															
	6. その他																																																												
現地活動経費	現地業務費	7,709 千円												4,775 千円												5,275 千円												千円												千円											
相手国側 投入実績	1. 運営管理	4名												4名												4名												4名												名											
	2. 訓練管理	3名												3名												3名												3名												名											
	3. 教材開発	1名												3名												3名												3名												名											
	4. 機械	2名												2名												2名												2名												名											
	5. 金属加工	3名												3名												3名												3名												名											
	6. 削磨	3名												3名												3名												3名												名											
	7. その他 運営予算	256,061 円 (1,024千円)												628,262 円 (2,262千円)												3,500,000 円 (14,466千円)												3,850,000 円 (千円)												千円											
調査団		計画打合-森島 1/11-1/21																								巡回指導予定 1/14-1/23																								加外評価予定											
リーダー会議		谷口 勝義/東京 2/9-2/16												谷口 勝義/東京 2/1-2/9												谷口 勝義/東京 2/12-2/19												東京																							
調整員会議														大杉 千恵子/刈 10/26-10/31																																															
国内委員会等																																																													

照会資金協力概要 ①内容:

E/N時期: ②金額: ③完了時期:

- (注1) C/P日本研修の欄には、氏名、研修科目、受入期間(日付入バーチャート)を記入。
- (注2) 現地活動経費欄には、現地業務費及び実施計画諸費の年度毎の合計支出額を、各々上段・下段に記入。
- (注3) 相手国側投入実績欄には、C/Pを含む部門毎の職員配属人数、支出予算額、主要な調達資機材等を記入。
- (注4) 調査団の欄には、調査団名、人数、派遣期間(日付入バーチャート)を記入。
- (注5) リーダー会議、調整員会議の欄には、出席者名、開催場所、開催期間(日付入バーチャート)を記入。、出席者名、開催場所、開催期間(日付入バーチャート)を記入。
- (注6) 国内委員会等の欄は、本部で記入。

7) C/P配置一覧表

(調整員氏名: 木村 伸一)

平成8年度 第3四半期現在

分野	予算年 C/P名 月	配 置 状 況					本 邦 研 修		備 考 (技術移転/技術習得状況等) (に関するコメント等)
		1994年	1995年	1996年	1997年	1998年	年度	主な研修先	
		4 7 10 1	4 7 10 1	4 7 10 1	4 7 10 1	4 7 10 1			
運営管理	R. DAVID	————							
	F. ZURUBANO		————				94	雇用促進 事業団	例: IMU コーディネーターとして実質的に プロジェクト運営を任されている。
翻譯管理	R. ABRAHAM		————				95	JICA 集団コース	
	W. BATHAN			————			96	JICA 集団コース	
	J. MENESES			————			97	予定	
教材開発	R. IGNACIO			————			95	雇用促進 事業団	教材開発運営法の習得・研修中 AV教材開発の習得 DTP技術習得予定
	A. PANEN		————				95	〃	
	R. MUTUC		————				97	予定	
機械	P. ARRIOLA		————				94	雇用促進 事業団	
	E. CASCO		————				95	〃	
金属加工	J. BELDA		————				94	雇用促進 事業団	研修中
	R. TUMANGUIL			————			96	〃	
	C. ANTONIO		第三国研修				97	予定	
制御	S. BURGOS			————			97	予定	本プロジェクトのリーダー的存在。電子科 専攻。コンピューター制御の知識十分。 機械化専攻。電子制御知識未熟 ながらコンピューター利用は可 研修中
	J. ABASOLO			————			95	雇用促進 事業団	
	F. VIERNES			————			96	JICA 集団コース	

(注1) 配置状況はバーチャート方式により記入(———— 配置実績 ———— 本邦研修)。

(注2) 分野は原則として、日本人専門家の担当分野(指導科目)に対応させる。

8) 機材の利用・管理状況表 (調査員氏名 木村 伸一)

平成8年度 第3四半期現在/01

供与年度	番号	機材名 (メーカー名・型式)		価格	数量	利用 (保管) 場所	管理状況	利用状況	備考 (特記事項)
1994	01	ワークステ	Calcomp 5017E	P. 28,600.00	1	金属加工 CAD/CAM	A	C	
"	02	モニター	ICL 14C	P. 52,900.00	1	" CAD/CAM	A	A	
"	03	モニター	ICL 14C	P. 52,900.00	1	訓練管理	A	A	
"	04	モニター	ICL 14C	P. 52,900.00	1	金属加工 CAD/CAM	A	A	
"	05	モニター	ICL 14C	P. 52,900.00	1	" CAD/CAM	A	A	
"	06	モニター	ICL 14C	P. 52,900.00	1	訓練管理	A	A	
"	07	モニター	ICL 14C	P. 52,900.00	1	運営管理	A	A	
"	08	モニター	ICL 14C	P. 52,900.00	1	金属加工 CAD/CAM	A	A	
"	09	モニター	ICL 14C	P. 52,900.00	1	運営管理	A	A	
"	10	モニター	ICL X190C		1	訓練管理			価格はNo. 13に含む
"	11	プリンター	ICL P420B		1	"			"
"	12	CPU ティー-49-1	Fujitsu E3801	P. 52,900.00	1	教材開発	A	A	
"	13	CPU ティー-49-1	Fujitsu E370S	P. 810,994.00	1	リーダ室		計画中	モニター-運営管理
"	14	CPU ティー-49-1	Fujitsu E3801	P. 292,275.00	1	金属加工 CAD/CAM	A	A	
"	15	CPU	ICL Value Plus DL66Di		1	" "	A	A	価格はNo. 02に含む
"	16	CPU	ICL Value Plus DL66Di		1	" "	A	A	価格はNo. 03に含む
"	17	CPU	ICL Value Plus DL66Di		1	" "	A	A	価格はNo. 04に含む
"	18	CPU	ICL Value Plus DL66Di		1	" "	A	A	価格はNo. 05に含む
"	19	CPU	ICL Value Plus DL66Di		1	訓練管理	A	A	価格はNo. 06に含む
"	20	CPU	ICL Value Plus DL66Di		1	運営管理	A	A	価格はNo. 07に含む
"	21	CPU	ICL Value Plus DL66Di		1	訓練管理	A	A	価格はNo. 08に含む
"	22	CPU	ICL Value Plus DL66Di		1	運営管理	A	A	価格はNo. 09に含む
"	23	ディスク	Calcomp 34180	P. 31,626.00	1	金属加工 CAD/CAM	A	C	
"	24	ファクシミリ-プリンター	EIZO F7601-W	P. 108,250.00	1	教材開発	A	A	

供/年度	番号	種材名(メーカー名・型式)	価格	数量	利用(保管)場所	管理状況	利用状況	備考(特記事項)
1994	25	フロッピーディスク モニター EIZO F7601-W	P. 97,700.00	1	金属加工 CAD/CAM	A	A	
"	26	ハードディスク Fujitsu MS096GX	P. 236,125.00	1	教材開発	A	A	
"	27	レーザープリンター Hewlett Packard 4L	P. 27,357.00	1	訓練管理	A	A	
"	28	レーザープリンター Hewlett Packard 4L	P. 27,357.00	1	制御	A	A	
"	29	レーザープリンター Hewlett Packard 4L	P. 27,357.00	1	金属加工 CAD/CAM	A	A	
"	30	レーザープリンター Hewlett Packard 4L	P. 27,357.00	1	運営管理	A	A	
"	31	レーザープリンター Hewlett Packard 4L	P. 27,357.00	1	"	A	A	
"	32	レーザープリンター Hewlett Packard 4L	P. 27,357.00	1	訓練管理	A	A	
"	33	レーザープリンター Hewlett Packard 4L	P. 27,357.00	1	機械	A	A	
"	34	レーザーファクシプリンター Hewlett Packard 481	P. 176,500.00	1	教材開発	A	A	
"	35	ノートブック コンピューター Compaq Contura 4/33C	P. 92,950.00	1	訓練管理	A	B	
"	36	オプティカル ディスク フォーマッタ Plasmon	P. 246,375.00	1	教材開発	A	A	
"	37	四輪駆動ワゴン車 三菱パジェロ V32RNTL 95年モデル	P. 610,000.00	1	PEVOTI 公用	A	A	
"	38	電源安定装置UPS APC Smart Ups 2000	P. 57,000.00	1	リーダー室		計画中	コンピューター運営管理
"	39	電源安定装置UPS APC Smart Ups 2000	P. 57,000.00	1	金属加工 CAD/CAM	A	A	
"	40	電源安定装置UPS Victron Delta 11-40	P. 164,500.00	1	教材開発		計画中	
"	41	電源安定装置UPS Victron Delta 11-40	P. 170,000.00	1	制御	A	A	
"	42							
"	43							
"	44							
"	45							

1. 管理状況 A. operational
B. idle
C. needs repair

2. 利用状況 A. daily
B. weekly
C. monthly

8) 機材の利用・管理状況表 (調査員氏名 木村 佳一)

平成8年度 第3四半期現在/01

供与年度	番号	機材名(メーカー名・型式)	価格	数量	利用(保管)場所	管理状況	利用状況	備考(特記事項)
1994	01	VTR Sony KV-H1	¥. 178,000.00	1	教材開発	A	B	
//	02	VTR Sony WV-H1	¥. 178,000.00	1	//	A	B	
//	03	ビデオカメラ Hi-8 Sony CCD-YX1	¥. 450,000.00	1	//	A	B	
//	04	ビデオエディター 8mm Sony EVO-9720	¥. 687,500.00	1	//	A	B	
//	05	ビデオライク FOR-A YTN-222S	¥. 370,000.00	1	//	A	C	
//	06	カラーモニター Sony PVM2130CM	¥. 237,000.00	1	//	C	B	
//	07	カラービデオリコーダー Sony CVP-M3	¥. 155,000.00	1	//	A	B	
//	08	三脚台 Libec 70SD	¥. 414,000.00	1	//	A	B	
//	09	電動リフトボード TEC BB-VRL36F	¥. 118,000.00	1	//	A	A	
//	10	オーバヘッドプロジェクター Elmc HP-A380	¥. 235,600.00	1	//	A	A	
//	11	スライドプロジェクター Elmc 253AF	¥. 102,900.00	1	//	A	B	
//	12	ビデオカメラ Elmc EV-500AF	¥. 248,500.00	1	//	A	B	
//	13	金型	¥. 1,035,000.00	1	金属加工 CAD/CAM	A	B	
//	14	カメラ・マイク Mitutovo TF-510W	¥. 1,125,000.00	1	// //	A	B	
//	//	マイクロホン	¥. 555,000.00	1	// //	A	B	
//	//	トリムマイク イルミネーター	¥. 125,000.00	1	// //	A	B	
//	//	FDユニット 990105	¥. 210,000.00	1	// //	A	B	
//	//	ビデオカメラ	¥. 172,000.00	1	// //	A	B	
//	//	TV システム	¥. 355,000.00	1	// //	A	B	
//	15	電気炉 Cartolite RVF 12/5	¥. 692,000.00	1	// //	A	C	
//	16	ビデオリコーダー Mitsubishi SCT-CP2000	¥. 1,030,000.00	1	// //	A	B	
//	17	パーソナルコンピュータ IBM 2115-011	¥. 195,000.00	1	制御	A	A	
//	18	パーソナルコンピュータ IBM 2115-011	¥. 195,000.00	1	//	A	A	
//	19	パーソナルコンピュータ IBM 2115-011	¥. 195,000.00	1	//	C		日本にて修理中

供々年度	番号	機材名(メーカー名・型式)	価格	数量	利用(保管)場所	管理状況	利用状況	備考(特記事項)
1994	20	レーザプリンター Epson LP-1600	¥. 155,000.00	1	制御	A	C	
〃	21	レーザプリンター Epson LP-1600	¥. 155,000.00	1	〃	A	A	
〃	22	トレーニングボード Kentac 800ZnK2	¥. 163,000.00	1	〃	A	A	
〃	23	トレーニングボード Kentac 800ZnK2	¥. 163,000.00	1	〃	A	C	
〃	24	トレーニングボード Kentac 800ZnK2	¥. 163,000.00	1	〃	A	C	
〃	25	トレーニングボード Kentac 800ZnK2	¥. 163,000.00	1	〃	A	C	
〃	26	トレーニングボード Kentac 800ZnK2	¥. 163,000.00	1	〃	A	C	
〃	27	モーション センサー Symsac PS-18A	¥. 361,500.00	1	〃	A	C	
〃	28	モーション ユニット Kentac 848	¥. 377,000.00	1	〃	A	A	
〃	29	モーション ユニット Kentac 848	¥. 377,000.00	1	〃	A	C	
〃	30	プログラムコントローラ Symsac C200H-CPU-3I-E	¥. 143,900.00	1	〃	A	C	
〃	31	プログラムコントローラ Symsac C200H-CPU-3I-E	¥. 143,900.00	1	〃	A	C	
〃	32	プログラムコントローラ Symsac C200H-CPU-3I-E	¥. 143,900.00	1	〃	A	A	
〃	33	FDインターフェイスユニット Omron 3G-2C5-FD103-E	¥. 105,100.00	1	〃	A	A	
〃	34	エレベータモトル Oshima System EE-26	¥. 284,000.00	1	〃	A	C	
〃	35	エレベータモトル Oshima System EE-26	¥. 284,000.00	1	〃	A	C	
〃	36	エレベータモトル Oshima System EE-26	¥. 284,000.00	1	〃	A	C	
〃	37	ボイスコープ Hitachi VC-6524	¥. 207,000.00	1	〃	A	B	
〃	38	ボイスコープ Hitachi VC-6524	¥. 207,000.00	1	〃	A	C	
〃	39	ボイスコープ Hitachi VC-6524	¥. 207,000.00	1	〃	A	C	
〃	40	ディジタル マルチメータ HewlettPackard34401A	¥. 104,000.00	1	〃	A	B	
〃	41	ディジタル マルチメータ HewlettPackard34401A	¥. 104,000.00	1	〃	A	C	
〃	42	ディジタル マルチメータ HewlettPackard34401A	¥. 104,000.00	1	〃	A	C	

1. 管理状況 A. operational
B. idle
C. needs repair

2. 利用状況 A. daily
B. weekly
C. monthly

8) 機材の利用・管理状況表 (調整員氏名 木村 伸一)

平成8年度 第3四半期現在/01

供与年度	番号	機材名(メーカー名・型式)			価格	数量	利用(保管)場所	管理状況	利用状況	備考(特記事項)
1995	01	OHP	Plus	CX-500	P. 49,000.00	1	金属加工 CAD/CAM	A	B	
"	02	OHP	Plus	CX-500	P. 49,000.00	1	訓練管理	A	C	
"	03	OHP	Plus	CX-500	P. 49,000.00	1	機械	A	B	
"	04	OHP	Plus	CX-500	P. 49,000.00	1	訓練管理	A	B	
"	05	OHP	Plus	CX-500	P. 49,000.00	1	金属加工 CAD/CAM	A	B	
"	06	オーエイク プロジェクタ-	Plus	DP-30	P. 88,000.00	1	制御	A	B	
"	07	オーエイク プロジェクタ-	Plus	DP-30	P. 88,000.00	1	訓練管理	A	C	
"	08	オーエイク プロジェクタ-	Plus	DP-30	P. 88,000.00	1	"	A	C	
"	09	エレクトリックボード	Panasonic	KX-B520G	P. 70,925.00	1	"	A	A	
"	10	エレクトリックボード	Panasonic	KX-B520G	P. 70,925.00	1	"	A	A	
"	11	マスタ-カム ソフトウェア			P. 262,500.00	1	金属加工	A	A	
"	12	スキャナ-	HewlettPackard	ScanJet 4c	P. 33,500.00	1	制御	A	B	
"	13	リソグラフィ装置	RISO	GR-1700	P. 311,700.00	1	教材開発	A	C	
"	14	ノートブックコンピュータ-	ICL Fujitsu	N4/50c	P. 125,000.00	1	金属加工 CAD/CAM	A	B	
"	15	ノートブックコンピュータ-	ICL Fujitsu	N4/50c	P. 125,000.00	1	" "	A	B	
"	16	ノートブックコンピュータ-	ICL Fujitsu	N4/50c	P. 125,000.00	1	" "	A	B	
"	17	ノートブックコンピュータ-	ICL Fujitsu	N4/50c	P. 125,000.00	1	" "	A	B	
"	18	ノートブックコンピュータ-	ICL Fujitsu	N4/50c	P. 125,000.00	1	運営管理	A	A	
"	19	ノートブックコンピュータ-	ICL Fujitsu	N4/50c	P. 125,000.00	1	教材開発	A	A	
"	20	ノートブックコンピュータ-	ICL Fujitsu	N4/50c	P. 125,000.00	1	"	A	C	
"	21	ノートブックコンピュータ-	ICL Fujitsu	N4/50c	P. 125,000.00	1	"	A	C	
"	22	ノートブックコンピュータ-	ICL Fujitsu	N4/50c	P. 125,000.00	1	訓練管理	A	A	
"	23	ノートブックコンピュータ-	ICL Fujitsu	N4/50c	P. 125,000.00	1	運営管理	C		要修理
"	24	ノートブックコンピュータ-	ICL Fujitsu	N4/50c	P. 125,000.00	1	金属加工	A	B	

採年度	番号	機材名(メーカー名・型式)	価格	数量	利用(保管)場所	管理状況	利用状況	備考(特記事項)
1995	25	ノートブック/パソコン ICL Fujitsu N4/50c	P. 125,000.00	1	金属加工 CAD/CAM	A	B	
"	26	フォトコピー機 FujiXerox 5075	P. 196,350.00	1	運営管理	A	A	
"	27	精密加工機 Amada M-1245	P. 1,729,383.00	1	金属加工	A	B	
"	28	フレームワーク/フレーム Amada TP-25	P. 1,524,256.00	1	"	A	B	
"	29	カラープリンター HewlettPackard DeskJet 660c	P. 29,600.00	1	図様管理	A	A	
"	30	CPU Fujitsu Team Server	P. 1,926,134.00	1	リーダース			コンピュータ運営管理
"	31		P.					
"	32		P.					
"	33		P.					
"	34		P.					
"	35		P.					
"	36		P.					
"	37		P.					
"	38		P.					
"	39							
"	40							
"	41							
"	42							
"	43							
"	44							
"			P.					
"			P.					

1. 管理状況 A. operational
B. idle
C. needs repair

2. 利用状況 A. daily
B. weekly
C. monthly

供々年度	番号	機材名(メーカー名・型式)	価格	数量	利用(保管)場所	利用状況	管理状況	備考(特記事項)
1995	25	ビデオレコーダ Sony EVR-5300	¥ 370,000.00	1	教材開発	A	B	
"	26	カラーモニター Sony PYM-1452QM	¥ 184,000.00	1	教材開発	A	B	
"	27	カラービデオプリンター Sony NTSC UP-5500	¥ 1,311,000.00	1	異議管理	B		調整中
"	28	レイトコンベアモジュール Sanei	¥ 3,615,100.00	1	制御	A	A	
"	29	エレベーターモジュール Mitec SK-500E	¥ 230,000.00	1	制御	A	A	
"	30	エレベーターモジュール Mitec SK-500E	¥ 230,000.00	1	制御	A	A	
"	31	PCトレーナー	¥ 497,100.00	1	制御	A	A	
"	32	PCトレーナー	¥ 497,100.00	1	制御	A	A	
"	33	PCトレーナー	¥ 497,100.00	1	制御	A	A	
"	34	PCトレーナー	¥ 497,100.00	1	制御	A	A	
"	35	PCトレーナー	¥ 497,100.00	1	制御	A	A	
"	36	ロボット Mitsubishi RV-W2	¥ 2,076,000.00	1	制御	A	A	
"	37	ノートブックコンピュータ Dell Latitude XP1	¥ 303,400.00	1	制御	A	A	
"	38	ビデオスコープ Hitachi VC-6524	¥ 253,300.00	1	制御	A	A	
"	39	ビデオスコープ Hitachi VC-6524	¥ 253,300.00	1	制御	A	A	
"	40	デジタルマルチメータ HP34401A	¥ 108,800.00	1	制御	A	A	
"	41	デジタルマルチメータ HP34401A	¥ 108,800.00	1	制御	A	A	
"	42	インテリジェントシミュレーター Sophia Z80TAT	¥ 548,000.00	1	制御	A	A	
"	43	ワンボードマイクロコンピュータ Kentac RM86-II	¥ 175,000.00	1	制御	A	A	
"	44	ワンボードマイクロコンピュータ Kentac RM86-II	¥ 175,000.00	1	制御	A	A	
"	45	マイクロワウチ SimadzuFika 100-389	¥ 120,300.00	1	制御	A	A	
"	46	マイクロワウチ SimadzuFika 100-389	¥ 120,300.00	1	制御	A	A	
"	47	ビデオレコーダ用ソフト Sony VID-P900	¥ 432,500.00	1	教材開発	A	A	
"	48	ビデオプロジェクター Sony VPL-351QM	¥ 812,000.00	1	教材開発	A	A	

供与年度	番号	機材名(メーカー名・型式)	価格	数量	利用(保管)場所	管理状況	利用状況	備考(特記事項)
1995	49	スクリーン Sony VPR-120	¥ 195,000.00	1	教材開発	A	A	
"	50	リキッドクリスタルディスプレイ Sharp XV-E650	¥ 492,000.00	1	教材開発	A	A	
"	51	カラーモニター Sony PGM-2950E	¥ 373,000.00	1	訓練管理	B		調整中
"	52	ビデオカメラ三脚 JVC GR-S29u	¥. 155,300.00	1	訓練管理	B		調整中
"	53	CNC加工マシン SL-25A/500	¥. 1,240,000.00	1	機械			設置調整待ち
"	54	// 工具	¥. 961,200.00	1	機械			
"	55		¥.					
"	56		¥.					
"	57		¥.					
"	58		¥.					
"	59		¥.					
"	60		¥.					
"			¥.					
"			¥.					
"			¥.					
"			¥.					
"			¥.					
"			¥.					
"			¥.					
"			¥.					
"			¥.					
"			¥.					
"			¥.					

1. 管理状況
 A. operational
 B. idle
 C. needs repair

2. 利用状況
 A. daily
 B. weekly
 C. monthly

項目	内容(概要、種別、氏名、分野等)	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
目 標	TMCコンセプトに基づきC/Pの能力向上を図る。 1) マネージャー及びトレーナーに対し試行訓練を行う。 2) 職業訓練コースの改善。 3) 新規職業訓練コースの立案 4)												
調査団派遣													
専門家を派遣	1) (チーフ、アドバイザー) 2) 木村 伸一 (業務調整員) 3) 西川 健雄 (訓練管理) 4) 八木 高行 (教材開発/教材開発) 5) 久米高憲 (機械) 6) (金属加工) 7) 立巻 保郎 (銅製)												
短 期 専 門 家	1) 訓練管理 2) 教材開発/教材開発 3) 機械 4) 金属加工 5) 銅製 6) 7)												
研修員受入	1) 訓練管理 Ms JOICE WENESES EL 2) 教材開発/訓練計画 Mrs AGNES P. PANEM 3) 機械 4) 金属加工 Mr. GERALES A. ANTONIO 5) 銅製 Mr. SEVERINO B. BRUGOS 6)												
備付品	要領金額: 千円(携行備材で対応)(外到着)												

年間計画付属書 1 専攻分野別派遣 (各専門家の別紙計画表を添付する)

	氏名	指導分野	派遣期間	要項事項 (各専門家からのピアリング結果を記載)	備考
長期派遣専門家	1) 谷口 勝徳	チーフ、アドバイザー	940524 ~ 970314	交替	
	2) 木村 伸一	業務管理	961001 ~ 980331		
	3) 西川 綱雄	訓練管理	960516 ~ 980515		(~ 990331)
	4) 八木 高行	教材開発/教材開発	940526 ~ 970625	延長待望 ~ 990331	
	5) 久米 寛憲	機械	960516 ~ 980515		(~ 990331)
	6) 小濱 邦明	金属加工	940524 ~ 970314	交替	
	7) 立屋 保郎	制御	960516 ~ 980515		(~ 990331)
	8)				
	9)				
	10)				
短期派遣専門家	1)	設備管理	971116 ~ 971215		
	2)	教材開発/教材開発	970801 ~ 970930	電子科訓練コース	
	3)	機械	971001 ~ 971010	機材提供・調整 3名	
	4)	金属加工			
	5)	制御	970615 ~ 970714	機材提供・調整 1名	
	6)				
	7)				
	8)				
	9)				
	10)				
	11)				
	12)				
	13)				
	14)				
	15)				
	16)				

年間計画付属書 2 研修員受入 (要領調査表および決定分についてはA2・3アドバンスコピーを添付する)

全体計画	研修分野	候補者氏名	受入希望時期	内定受入機関	備 考
4 名を希望 ・ 早期選考分 _____ 名 ・ 年度末選考分 _____ 名	1) 調理管理	Ms JOICE WENESES EL	平成8. 9. ~平成9. 10.	個別研修	
	2) 教材開発・調理計画	Mrs AGNES P. PANEN	平成9. 7. ~平成8. 10.	個別研修	
	3) 金属加工	Mr. CHRALES A. ANTONIO	平成9. 4. 8 ~平成9. 12. 22	集団研修	
	4) 制菓	Mr. SEVERINO B. BRGGOS	平成9. 8. 19 ~平成10. 2. 19	集団研修	
	6)				
	6)				
	7)				
	8)				
	9)				
	10)				